



三菱照明制御器

MILCO.S

双方向ワイヤレスリモコン

形名 MS213A

取扱説明書

機能		形名
スタンダードタイプ コントローラ	照度センサ有 人感センサ無	MS681
	照度センサ有 人感センサ有	MS682
スケジュール通信タイプ コントローラ	照度センサ有 人感センサ無	MS681S
	照度センサ有 人感センサ有	MS682S
	照度センサ無 人感センサ無	MS683S
	照度センサ無 人感センサ無	MS684SA
ワイヤレスタイプ コントローラ	照度センサ有 人感センサ無	MS691S MS692S MS692SA
	照度センサ無 人感センサ無	MS711S
設備インターフェース機器	有線LAN通信 無線LAN通信	MS851
無線中継器兼PWM変換器		MS409 MS409A
無線調光ユニット		SC0540B SC0541B



このたびは三菱 双方向ワイヤレスリモコンをお買い上げいただきありがとうございました。

- 本紙は三菱 双方向ワイヤレスリモコンMS213AをMILCO.S(ミルコ.エス)コントローラ、設備インターフェース機器、ワイヤレス対応照明器具と組み合わせた場合の取扱いについて記載しております。
よくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになった後は、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
- お使いになる方は、いつでも見られる所に保管し、移設、修理の時は工事される方に、またお使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しください。
- 本器MS213AはメルセーブSYSTEM IV及びメルセーブSYSTEM IIIのコントローラにも対応可能ですが、これらのコントローラと組み合わせた場合の操作手順については、該当するコントローラの取扱説明書を参照ください。

設定操作の流れ・もくじ

はじめに

*必ず読んでください。

はじめに

- 1 基本動作 3ページ
- 2 安全のために必ず守ること 4ページ
- 3 使用上のご注意 4ページ



設定の準備

*必ず行ってください。

設定の準備

- 4 各部のなまえ 5ページ
- 5 電池の入れ方 5ページ
- 6 コントローラのLED表示 6ページ
- 7 ブザー音・エラーについて 6ページ
- 8 動作モードの優先順位 6ページ
- 9 画面構成 7ページ
- 10 ボタン操作について 8ページ
- 11 設定できる項目 9ページ
- 12 リモコンのリセット(初期化) 11ページ
- 13 コントローラのリセット(初期化) 11ページ
- 14 調光信号線の接続確認 11ページ



基本操作編

双方向リモコンによる操作・モニタ機能

- 15 点灯、消灯、調光、色温度、シーンの操作 12ページ
- 16 運転モード及び調光率、色温度モニタ 12ページ
- 17 省エネ率及び現在の電力値のモニタ 12ページ
- 18 リモコンの日付・曜日・時刻の設定 13ページ



簡単設定編

*必ず行ってください。

照度センサの設定

- 19 照度センサの感度設定 14ページ
- 20 センサ補正 15ページ

調光出力モードの設定

- 21 調光出力モードの設定 15ページ

設定データの読込/書込

- 22 設定データの一括読込 16ページ
- 23 設定データの一括書込 16ページ



終了

応用操作編		*必要に応じて行ってください。
通常動作・シーン動作の設定	24	照度センサの動作確認 17ページ
	25	照度一定制御運転、マニュアル操作の設定 17ページ
	26	消灯制御の設定 17ページ
初期照度補正タイマー制御の設定	27	初期照度補正タイマーの設定 18ページ
シーンの設定	28	シーンの設定 19ページ
	29	登録されたシーンを再現 19ページ
	30	フェード時間の設定 19ページ
色温度の設定	31	色温度制御の設定 20ページ
不在制御設定(人感センサ有のみ)	32	不在制御の設定 21ページ
	33	昼間に在検知で点灯しない設定 22ページ
スケジュールの設定 (スケジュール通信タイプのみ)	34	スケジュールの設定 23ページ
	35	スケジュールの実行 25ページ
	36	特定日スケジュールの実行 25ページ
	37	スケジュールの動作確認 26ページ
	38	スケジュール設定の削除 26ページ
接点入力の設定	39	接点入力によるシーンの再現 27ページ
	40	接点入力によるスケジュールの動作 27ページ
接点出力の設定	41	シーン実行状態の接点出力 27ページ
	42	消灯/点灯状態の接点出力 28ページ
	43	在/不在状態の接点出力 28ページ
	44	明/暗状態の接点出力 29ページ
	45	換気扇連動制御の接点出力 29ページ
日時の設定	46	コントローラの日時設定 29ページ
	47	コントローラの日時モニタ 29ページ
通信機能の設定 (コントローラのアドレスの設定)	48	アドレス・グループの設定・モニタ 30ページ
	49	通信線終端設定 30ページ
	50	ネットワーク情報の設定・モニタ 31ページ
	51	LAN通信モードの切替え 32ページ
システムIDの設定	52	システムIDの設定・モニタ 32ページ
リモコンの設定	53	メルセーブIVモードへの切替え 33ページ
	54	バックライト点灯時間の切替え 33ページ
	55	操作・設定機能のロック 33ページ
	56	メニューボタン動作モードの切替え 33ページ
無線器具編		
無線器具の設定 (無線器具のアドレスの設定)	57	無線器具のアドレス・回路番号・中継機能の設定 34ページ
	58	無線器具のアドレス・回路番号・中継機能・動作モードの確認 35ページ
	59	無線器具の点灯、消灯、調光の操作 36ページ
おわりに	60	仕様 37ページ
	61	保証とアフターサービス 37ページ

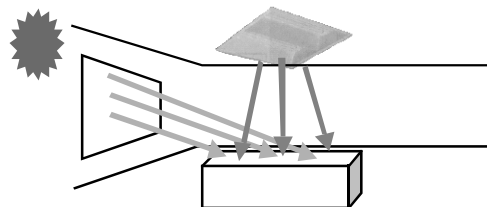
はじめに

1 基本動作

照度センサ機能

MS681S/MS682S/MS681S/MS682S/MS691S/
MS692S/MS692SA

- 照度センサにより、昼光の分とランプ交換後の明るすぎる分の照明器具の明るさを絞り、一定の照度に保つよう自動コントロールを行います。
- 設定により、昼間明るいときに消灯することができます。
点滅の頻度を抑えるため、点灯照度と消灯照度の差の大きを設定できます。
- 設定により、昼光状態を接点信号で出力します。
(MS691SとMS692S/MS692SAに接点機能は有りません。)



人感センサ機能

MS682S/MS682S

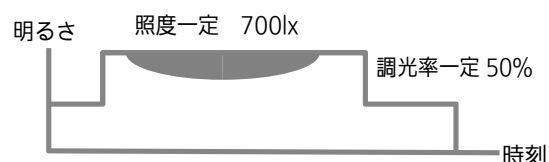
- 人感センサにより、不在時は減光または消灯します。
- 設定により、昼光だけで目標照度が得られていれば人を検知しても再始動(点灯)しないようにできます。
- 在不在状態を接点信号で出力し、換気扇など他設備と連動できます。



スケジュール機能

MS681S/MS682S/MS683S/MS684SA/MS691S/
MS692S/MS692SA/MS711S

- スケジュールパターン(S1～S4)に各10ステップの時刻とシーンの組合せを合計で4パターン設定できます。
- 各曜日に、スケジュールパターンを割当て毎週のスケジュール運転ができます。
- 年間30日までの指定日に、4つのスケジュールパターンを設定できます。
- 昼間は照度一定、夜は調光率一定など、時間帯毎に照度センサの「入」/「切」が設定できます。
- タイマーモードを実行することにより、設定時間毎に設定されたシーンを順に実行します。




LAN 通信機能


MS851

- コントローラ(MS681S/MS682S/MS683S/MS684SA/MS691S/MS692S/MS692SA/MS711S)と設備インターフェース機器(MS851)を通信線で接続することにより、モバイル端末(Windows)で使用電力の見える化および各種操作・設定ができます。
- LAN通信の接続方法として、設備インターフェース機器と直接無線通信するアクセスポイントモードと市販の無線LANルータを介して通信するインフラストラクチャ(DHCP)/インフラストラクチャ(IP固定)モードと有線LAN接続で通信する有線LAN(IP固定)モードの4つの設定があります。
初期設定は、アクセスポイントモードになります。


2 安全のために必ずまもること

- 次の注意事項は、安全に関する重大な内容であるため、必ず守ってください。

 **警告** 誤った取扱いをしたときに、死亡や重症などの重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。

 **注意** 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

異常時
の処置

 **警告** 煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合は、直ちにアルカリ乾電池を抜き、煙が出なくなるのを確認してお近くのサービス窓口にご連絡ください。やけどや火災の原因になります。





図記号の意味は次のとおりです。







絶対に
行わないで
ください。



必ず指示に
従って
ください。

 警告	
 厳守	電池のアルカリ液が目に入ったときは、こすらずにすぐに水道水などの多量のきれいな水で十分に洗った後、医師の治療を受ける。 失明など障害の原因になります。
	電池のアルカリ液が皮膚に付着したときは、すぐに水道水などの多量のきれいな水で洗い流す。 皮膚に障害を起こす原因になります。
 注意	
 禁止	アルカリ乾電池の(+)、(−)を逆に挿入しない。古いアルカリ乾電池や違う種類の電池を混ぜて使わない。 けが・故障の原因となることがあります。
	アルカリ乾電池をショートさせることや分解・加熱または充電しない。 液漏れ、破損、発熱によりけが・故障の原因となることがあります。
	アルカリ乾電池に表示している「使用推奨期間」を過ぎての使用や使い切ったアルカリ乾電池をリモコンに入れたままにしない。 液漏れによる故障の原因となることがあります。
	長時間使用しない場合は、リモコンから乾電池を外してください。

3 使用上のご注意

- 施工後のご確認事項
 - ・ 有線の場合、コントローラと照明器具が調光信号線で確実に接続されているか確認してください。
 - ・ ワイヤレスリモコンの 、、 または  ボタンを押して調光範囲が適切であるか確認してください。
P11「**14** 調光信号線の接続確認」を参照ください。
 - ・ コントローラは、接続できる照明器具台数または無線通信範囲が制限されています。コントローラの取扱説明書を参照し、照明器具の接続台数または制御対象範囲が適切であることを確認してください。
- 設定時のご確認事項
 - ・ 設定操作を行う場合は、照明器具が点灯していることを確認してください。
 - ・ コントローラ設置工事直後及び、レイアウト変更など照明環境を変更した時は、必ずP14「**19** 照度センサの感度設定」を実施してください。(照度センサ機能を使用する場合)
- ワイヤレスリモコンの送受信範囲
 - ・ ワイヤレスリモコンの送受信可能距離は、各機器の取扱説明書を参照してください。
(操作対象機器の真下で送受信部に向けて操作をしてください。)
 - ・ リモコンの液晶画面がうすくなったり、操作が効きにくくなった時には、お早めに乾電池を交換してください。

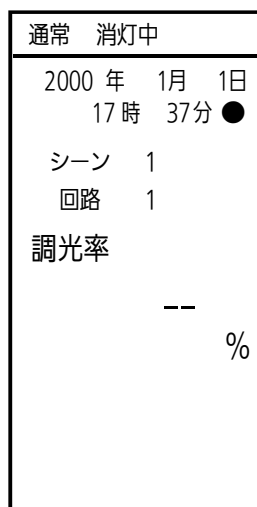
※その他不明点は弊社ホームページ「MILCO.Sのよくある質問はこちら」よりQ&A集を参照してください。

https://www.mitsubishielectric.co.jp/ldg/ja/lighting/guide/support/faq/control_01.html

設定の準備

4 各部のなまえ

● 3.5 インチ液晶

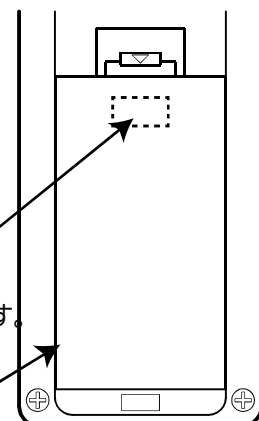


※ 上記画面はメイン画面
(操作/調光率モニタ)です。

リモコン本体



背面(電池カバー周辺)



●リセットボタン
(電池カバー下)
本器をリセットします。

●電池カバー

消灯 ボタン
消灯を実行します。

切替 ボタン
シーンを切替えます。
ダブルクリックで制御選択範囲画面を開きます。
(回路、グループ、照明器具を切替えます。)
メニュー画面で
メニュー(コントローラ)⇄メニュー(照明器具)
を切替えます。

決定 ボタン
項目選択および色温度を操作します。

送信 **受信** ボタン
現在の運転内容の受信や設定内容を送信・受信
します。

戻る ボタン
1つ上の画面に戻ります。

自動・点灯 ボタン
通常運転の点灯を実行します。

実行 ボタン
選択されたシーンを実行します。

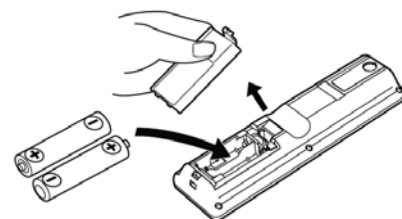
決定 ボタン
項目選択、数値選択および調光率を操作
します。

決定 ボタン
選択内容を決定します。

メニュー ボタン
メニュー(コントローラ)画面に戻ります。
ダブルクリックでスケジュール実行画面
を開きます。
※メニューボタン動作モードが
メニューモードの場合

5 電池の入れ方

- (1) 本体裏側の電池カバーを開けます。
- (2) 2本の単3形アルカリ乾電池(LR6)の＋極性を確認して入れます。
※ 電池は2本同時に新しい電池を使用してください。
- (3) 電池を入れた後に『リセットボタン』を押してください。
※ 液晶画面表示が時刻設定画面になります。
設定方法は、P13「**18** リモコンの日付・曜日・時刻の設定」を参照してください。
- (4) 電池カバーを閉めます。
※ 長時間使用しない場合は、電池を取り出しておいてください。
電池交換およびリセット後、リモコンの設定は工場出荷状態になります。
コントローラの現在設定内容は、P16「**22** 設定データの一括読込」で確認してください。



6 コントローラのLED表示

設定操作において確認するランプ(状態表示LED)は、各機器の取扱説明書を参照してください。

7 ブザー音・エラーについて

リモコン操作を行ったとき、コントローラが発するブザー音は以下の意味を持ちます。

ブザー音	動作確認	
「ピッ」	リモコン送信音	リモコンで (自動・点灯) (+) (消灯) (シーン (実行)) または (送信) ボタンを押し、コントローラが信号を受信したとき。
「ピピ」	リモコン受信音	リモコンで (受信) ボタンを押し、コントローラがリモコンに信号を送信したとき。※
「ピピー」	リミッター音	リモコンで (+) (消灯) ボタンを押し、調光率が上限または下限に達したとき。

※「ピピ」とコントローラの送信音が鳴っても、リモコンが受信できなかった場合は、液晶の右上部に「!」が表示されます。コントローラに向け、再度 (受信) ボタンを押してください。

8 動作モードの優先順位

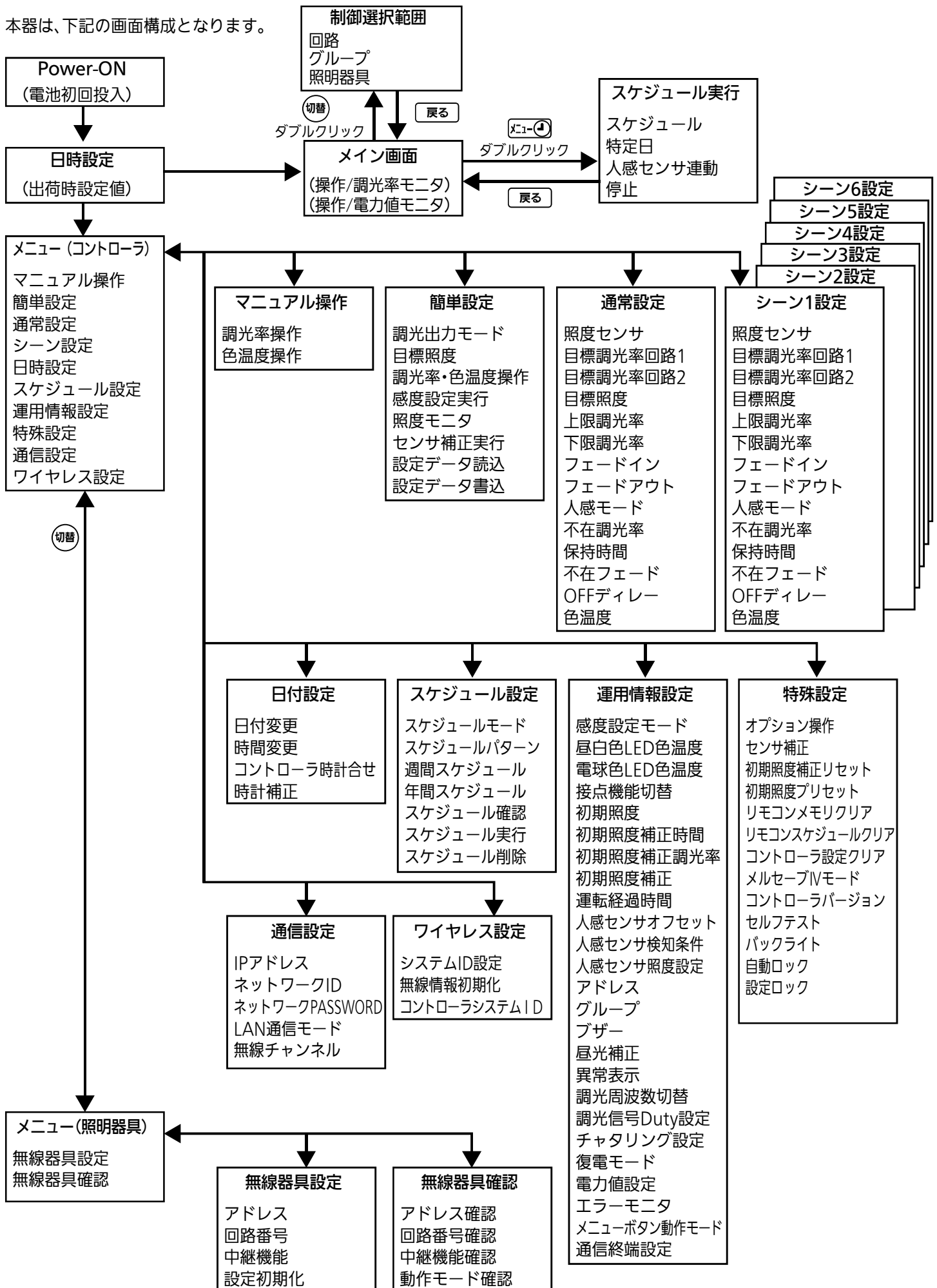
複数の入力が同時に発生した場合、優先順位は下表のようになります。

優先順位	動作モード
1	リモコン(マニュアル操作)
2	調光器
3	接点2入力(※)
4	接点1入力(※)
5	シーン運転、スケジュール運転

(※)は、接点2、接点1入力が共にある場合、接点2入力(シーン2の設定)が実行されます。
接点組合せがONの場合、シーン3が実行されます。

9 画面構成

本器は、下記の画面構成となります。



10 ボタン操作について

(1) メイン画面では、手順を少なくし、簡単に操作できるボタン構成としています。

操作ボタン	1回押し(シングルクリック)	連続2回押し(ダブルクリック)
	通常モードの「自動点灯」が実行します。	フェード無しで実行します。
	通常モードの「消灯」が実行します。	—
	選択されているシーンが実行します。	フェード無しで実行します。
	明るさをアップ、ダウンします。	—
	色温度をアップ、ダウンします。	—
	シーンを切替えます。	制御選択範囲画面を開きます。 (回路及びグループが選択できます。)
	メニュー画面を開きます。	スケジュール実行画面を開きます。

※ 約30秒ボタン操作がない場合は、バックライトが消え、さらにボタン操作が約30秒ない場合、画面が消えます。
再操作する場合、どれかボタンを押すとメイン画面が表示されます。

(2) 設定画面では、メニュー形式で構成され、数値の変更およびモニタを行います。

〈例として運用情報設定の運転経過時間画面にて説明します。〉

①項目の移動と選択

(a) 項目の移動は ボタンで行います。

(c) 選択は、カーソルの位置で ボタンを押します。

(b) 複数ページがある場合はページ番号が表示されます。

②項目選択と数値入力

(c)の ボタン操作でポップアップ画面が表示され、項目の選択または数値の入力を行います。

(d) 数値の変更は ボタンで行います。

(e) フィールドの移動は ボタンで行います。

(f) 入力確定は、カーソルの位置で ボタンを押します。

③コントローラへの送信と受信

(g) ボタンを押してコントローラにデータを送信します。

(h) ボタンを押してコントローラからデータを受信します。

11 設定できる項目

機器において設定できる項目一覧を下表に示します。

リモコンをリセットすると、設定はそれぞれ下表の出荷時設定の内容になります。

項 目	内 容	設定の範囲	出荷時設定		
簡単設定	調光出力モード	個別制御 タイマー制御 回路1 入/切	切		
		回路2 入/切	入		
		バランス制御 バランス率 0～100%	—		
		色温度制御			
	昼光センサ制御	回路1 変化量0～2550 lx	—		
		回路2 変化量0～2550 lx	—		
	目標照度、照度センサ	0～5,000 lx (10 lx 単位)、入/切	500 lx、入		
	調光率	0.5～100% (1% 単位)	50%		
	色温度	3,000～5,000 K (10K 単位)	5,000K		
通常設定 シーン設定 7つ(通常+6シーン)の 運転モードに対しそれぞれ 独立に内容を設定できます。	感度設定実行	—	—		
	センサ補正実行	—	—		
	照度センサ	入/切	入		
	目標調光率回路1	0.5～100% (1% 単位)	通常 50%	シーン1 75%	シーン2～6 10%
	目標調光率回路2	0.5～100% (1% 単位)	50%	75%	10%
	目標照度	0～5,000 lx (10 lx 単位)	500 lx	750 lx	100 lx
	上限調光率	0.5～100% (1% 単位)	71%	100%	15%
	下限調光率	0.5～100% (1% 単位)	25%	25%	5%
	フェードイン	0～180秒(1秒単位)、240～4680秒(60秒単位) (100%変化あたり)	10秒		
	フェードアウト	0～180秒(1秒単位)、240～4680秒(60秒単位) (100%変化あたり)	10秒		
	人感モード (人感制御モード)	人感切/通常モード/省エネモード /残置モード	人感切 (不在制御なし)		
	不在調光率	0.5～100% (1% 単位)	25%		
	保持時間 (不在検知時明るさ保持時間)	0～2550秒(42分30秒)	300秒(5分)		
	不在フェード (不在検知時のフェード時間)	0～255秒(調光率100%変化に要する時間) 在検知時のフェード時間は約0秒固定	10秒		
	OFFディレー (不在検知時消灯ディレー時間)	0～2550秒(10秒単位)	300秒(5分)		
	色温度	3,000～5,000 K (10K 単位)	5,000 K		
日時設定	リモコン日付変更(現在の日付、曜日)	年月日 日～土	2013年10月21日 月曜日		
	リモコン時間変更(現在の時間)	0時0分～23時59分(1分単位)	0時0分		
	コントローラ時計補正	－63～63ppm	0 ppm		
スケジュール設定	スケジュールモード	時刻モード/タイマモード	時刻モード		
	スケジュールパターン	スケジュールパターン1～4に各10ステップまで シーンの実施時刻を設定 時刻 0:00～23:59 (1分単位) 通常・シーン番号 1～6	設定なし「—」表示		
	週間スケジュール	月・火・水・木・金・土・日のそれぞれに対して、 スケジュールパターン1～4を設定	設定なし「—」表示		
	年間スケジュール	指定日に対して、スケジュールパターン1～4を 設定(最大30日分)	設定なし「—」表示		
	スケジュール実行	スケジュール/特定日/人感センサ連動/停止	停止		
運用情報設定	感度設定モード	簡単/自動	簡単		
	昼白色LED 色温度/光出力	4,000～7,000K/0～5,000lm	5,000K/2,400lm		
	電球色LED 色温度/光出力	2,000～4,000K/0～5,000lm	3,000K/1,900lm		
	接点機能切替	入力(シーン連動)/入力(スケジュール連動) 出力(シーン連動)/出力(点灯/消灯連動) 出力(人感センサ連動 不在状態) 出力(照度センサ連動 明暗状態) 出力(換気扇連動)	入力(シーン連動)		

項目	内容	設定の範囲	出荷時設定
運用情報設定	初期照度	0～5,000 lx (10 lx単位)	1,000 lx
	初期照度補正時間	5,000～100,000時間(10時間単位)	60,000時間
	初期照度補正調光率	0～100% (1%単位)	70%
	初期照度補正モニタ	①入/切 ②入/切	①切 ②入
	運転経過時間	①0～100,000時間 ②0～100,000時間 (10時間単位)	①0時間 ②0時間
	人感センサオフセット	センター:0～255、 幅:0～255	128、 100
	人感センサ検知条件	パルス幅0～1,000ms、 検知回数1～5回	350ms、 2回
	人感センサ照度設定	10～5,000lx(10 lx単位)、 切	切
	アドレス	0～255	0
	グループ	0～255	0
	ブザー音	入/切	入
	昼光補正	0～100%(1%単位)	100%
	異常表示	入(ランプ異常点減なし)/切(ランプ異常点減あり)	入(ランプ異常点減無し)
	調光周波数切替	100Hz/1kHz	1kHz
	調光信号Duty設定	0～100%(0.5%単位)	90.5%
	チャタリング設定	0～100%(1%単位)	25%
	復電モード	最終状態/自動	最終状態
	電力値設定	①:0～10,000W ②:0～10,000W	①1,000W ②1,000W
	メニューボタン動作モード	メニュー /スケジュール実行	メニュー
	通信線終端設定	あり/なし	なし
特殊操作	オプション操作	メルセーブⅣのオプション操作 1～99	1
	センサ補正	センサ補正值 切/手動/自動 センサ電圧 ゲイン1～4 設定センサ値0～255	切 0、0
	初期照度補正リセット	初期照度補正をリセット	—
	初期設定プリセット	工場出荷値/設定値	設定値
	リモコンメモリクリア	リモコンメモリをクリア	—
	リモコンスケジュールクリア	リモコンスケジュール設定をクリア	—
	コントローラ設定クリア	コントローラ設定をクリア	—
	メルセーブⅣモード	入/切	切
	セルフテスト	セルフテストを実行	—
	バックライト	切、入10,20,30,60秒	入 30秒
	自動ロック	0000～9999	0000(設定なし)
	設定ロック	0000～9999	0000(設定なし)
通信設定	IPアドレス	192.168.0～255.0～255	192.168.101.1
	ネットワークID	0～9、A～Zの4桁	(MILIE)0123
	ネットワークPASSWORD	0～9、A～Zの4桁	(MILCO)1234
	LAN通信モード	アクセスポイント インフラストラクチャ(DHCP) インフラストラクチャ(IP固定) 有線LAN(IP固定)	アクセスポイント
	無線チャンネル	1～13	6
ワイヤレス設定	システムID設定	—	—
	無線情報初期化	—	—
	コントローラシステムID	—	—
無線器具設定	アドレス	0～10	0
	回路番号	1～4	1
	中継機能	ON/OFF	OFF
	設定初期化	—	—
無線器具確認	アドレス確認	0～10	0
	回路番号確認	—	—
	中継機能確認	—	—
	動作モード確認	—	—

※リモコンの回路表示とコントローラの信号線端子台は右表のように対応します。

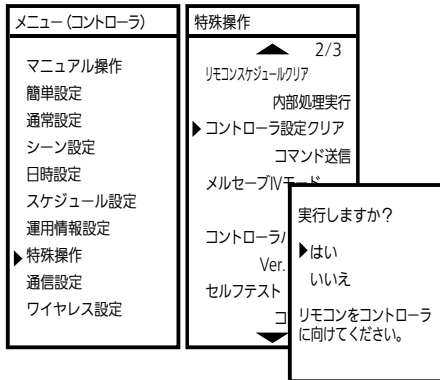
リモコン画面表示	コントローラ信号線端子台
回路1	照明器具1
回路2	照明器具2

12 リモコンのリセット (初期化)

本器背面の電池カバー下にあるリセットボタンを押すことにより、リモコンの設定データを工場出荷状態に戻します。

13 コントローラのリセット (初期化)

本操作により、コントローラ、設備インターフェース機器の設定データを工場出荷状態に戻します。
(現在時刻の設定と時計の補正はリセットされません。)



- ① ①-②ボタンを押し、メニュー(コントローラ)画面を表示させて、「特殊操作」を選択し、③ボタンを押します。
- ② 特殊操作画面より「コントローラ設定クリア」を選択し、③ボタンを押しポップアップ画面を開き、「はい」を選択し、本器をコントローラに向けて③ボタンを押します。
コントローラの設定状態が工場出荷時または設定した状態に戻ります。
ただし、日時情報はリセットされません。
また、MS692SAのアドレスはリセットされません。

※ 特殊操作画面の「初期設定プリセット」にて、「工場出荷時」または「設定値」を選択してコントローラ、設備インターフェースに送信することで、リセット操作した際の状態を変更することができます。

14 調光信号線の接続確認

コントローラ全機種

必須

この操作により、コントローラと調光制御する照明器具の調光信号配線が正しく施工されているか確認をします。
(設置直後は、コントローラの運転状態LED(赤)は点灯しています。)



- ① 本器をコントローラに向けて④ボタンを押して調光制御対象の照明器具が消灯することを確認します。
コントローラの運転状態LED(赤)は遅い点滅となります。
照明器具の明るさが変化しない場合は、調光信号線の結線を確認して再度①～②の操作を繰り返してください。

- ② 本器をコントローラに向けて⑤(自動・点灯)ボタンを押してください。コントローラのアザーが「ピッ」と鳴り、自動(通常)モードで運転します。コントローラの運転状態LED(赤)は点灯しています。

※ MS691S/MS692S/MS692SA/MS711Sは無線で調光制御を行うため、照明器具のアドレスが合っているか確認してください。

基本操作編

15 点灯、消灯、調光、色温度、シーンの操作

コントローラ全機種

必須

(1) 点灯する(自動制御)

本器をコントローラに向けて(自動・点灯)ボタンを押すと、通常モードの目標照度で点灯します。
照度センサ「切」の場合は、目標調光率で点灯します。

(2) 消灯する

本器をコントローラに向けて(消灯)ボタンを押すと、消灯します。

※ 照明器具によっては消灯しない場合もあります。

(3) 調光(明るさアップダウン)操作する(マニュアル運転)

本器をコントローラに向けて(+)ボタン操作で調光率が1%ずつ変化します。

2秒以上連続操作で調光率が5%ずつ変化します。

(+)ボタンでは液晶画面に調光率が表示されませんので、調光率を確認するには、(受信)ボタンを押してください。

※ 運転中画面で表示されている番号の回路が調光操作できます。回路番号を変更したい場合は(切替)ボタンをダブルクリックし、制御選択画面で(+)ボタンを押して調光操作したい回路番号を表示させ、(戻る)ボタンを押してから上記(1)～(3)の操作を行ってください。

※ 照明器具によっては表示値と実際の調光率が異なる場合があります。

(4) 色温度を(アップダウン)操作する(マニュアル運転)

本器をコントローラに向けて(△)ボタン操作で色温度が10Kずつ変化します。

2秒以上連続操作で色温度が50Kずつ変化します。

(△)ボタン操作では、液晶画面に色温度が表示されませんので色温度を確認するには(受信)ボタンを押してください。

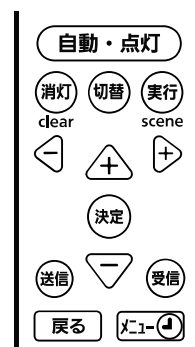
※ リモコンの色温度の操作画面は「簡単設定」の「調光出力モード」で「色温度制御」を選択した場合のみ表示します。

(5) シーン操作する(シーン運転)

メイン画面で(切替)ボタンを押して、実施したいシーン番号を選択します。

シーンの切り替わりを確認しながら、間隔を空けて(切替)ボタンを押してください。

次に本器をコントローラに向けて(実行)ボタンを押すとシーンが実行できます。



16 運転モード及び調光率、色温度モニタ

コントローラ全機種

必須

通常 運転中	通常 運転中
2019 年 5月 1日 20時 39分 ●	2019 年 5月 1日 20時 39分 ●
シーン 1	シーン 1
回路 1	回路 1
調光率	調光率
70 %	70 %
	色温度
	5000 K

個別制御
バランス制御
昼光センサ制御

色温度制御

① 左記の操作画面より(受信)ボタンを押します。

② 画面左上に運転モード(通常・シーン1～6・マニュアル)スケジュールの状態と調光率および色温度が表示されます。

※ 色温度は色温度制御時のみ正しく表示されます。

(色温度制御を確認、操作する場合は、コントローラ、リモコンともに色温度制御モードに設定してください。)

17 省エネ率及び現在の電力値のモニタ

コントローラ全機種

必須

通常 運転中
2019 年 5月 1日 20時 39分 ●
シーン 1
回路 1
省エネ率
30 %
電力値
250 W

① 上記操作画面より、(戻る)ボタンを押すと電力モニタ画面に切り替わり、(受信)ボタンを操作すると、省エネ率および現在の電力値が表示されます。電力値は、運用情報設定の電力設定画面で最大電力値の入力が必要です。

② 再度(戻る)ボタンを押すと、「16 運転モード及び調光率、色温度モニタ」の操作画面に切り替わります。

リモコンの電池交換およびリセットスイッチを押した時、リモコン内蔵時計がリセットされます。よって内蔵時計を現在の日付・曜日・時刻合わせ操作を行ってください。

また、時間経過によって時計がずれる場合がありますので、定期的に本操作を行ってください。

日時設定

2019 年 5月 1日
20 時 10分 27秒
水曜日

リモコン日付変更
リモコン時間変更
コントローラ時計合せ

日時設定

2019 年 5月 1日
20 時 10分 27秒
水曜日

リモコン日付変更
リモコン時間変更
コントローラ時計合せ
コントローラ時計確認
コントローラ時計補正
0 ppm

日付変更

▲
2019 - 5 - 1 水曜日
▼

時間変更

▲
20 時 10 分 00 秒
▼

- ① ボタンを押し、メニュー（コントローラ）画面を表示させて、「日時設定」を選択し、 ボタンを押します。
- ② 日時設定画面より「リモコン日付変更」を選択し、 ボタンを押しポップアップ画面を開き、 ボタンを操作して、「年/月/日/曜日」を選択し ボタンを押します。
- ③ 日時設定画面より「リモコン時間変更」を選択し、 ボタンを押しポップアップ画面を開き、 ボタンを操作し、「時/分」を選択し ボタンを押します。時計のカウントが00秒から開始されます。

※コントローラの日時設定は、P29「**46** コントローラの日時設定」を参照してください。

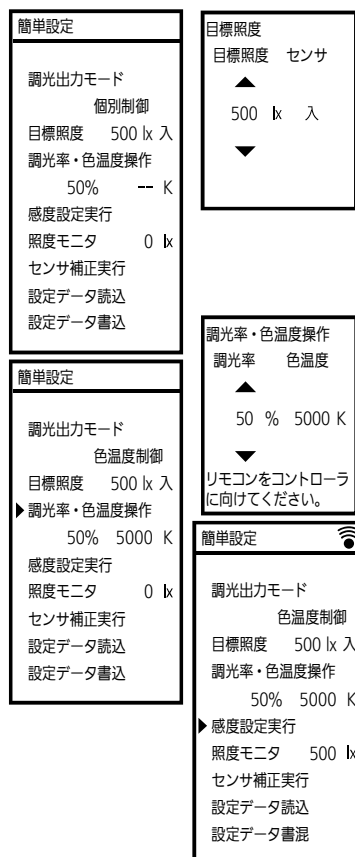
← 秒は 00 秒固定となっています。

19 照度センサの感度設定

MS681/MS682/MS681S/MS682S/MS691S/MS692S/MS692SA 必須

コントローラは、照度変化に対するセンサの感度を床・机上面の反射率に合わせて調整します。
感度設定には「簡単」感度設定モードと「自動」感度設定モードの2つがあり出荷時設定は「簡単」感度設定モードになります。
「簡単」感度設定モードと「自動」感度設定モードの切替は、「運用情報設定」画面の「感度設定モード」で切替えてください。

(1) 簡単設定で感度設定を行う場合



運転したい明るさに調光率を操作し、その時の明るさを目標の照度として運転します。

- ① **メニュー** ボタンを押し、メニュー（コントローラ）画面を表示させて、「簡単設定」を選択し、**決定** ボタンを押します。
- ② 簡単設定画面より「目標照度」選択し、**決定** ボタンを押しポップアップ画面を開き、「センサ」を「入」にし、**+**/**-** ボタンを操作し目標照度を選択し**決定** ボタンを押します。
- ③ 本器をコントローラに向けて**送信** ボタンを押します。
コントローラが「ピッ」と鳴り設定が完了します。
- ④ 簡単設定画面より「調光率・色温度操作」を選択し、**決定** ボタンを押しポップアップ画面を開き、照度計を見ながら必要な明るさになるように **+**/**-** ボタンを操作し調光率を選択します。
調光出力モードより「色温度制御」を選択した場合は同様に使用する色温度を選択してください。
- ⑤ 本器をコントローラに向けて簡単設定画面より「感度設定実行」を選択し、**決定** ボタンを押します。
感度設定が実行され、正常に終了するとコントローラが「ピッ」と鳴ります。
- ⑥ **戻る** ボタンを2回押し、本器をコントローラに向けて **自動・点灯** ボタンを押してください。
コントローラが「ピッ」と鳴り、自動（通常）モードで運転します。
- ⑦ 簡単設定画面より「照度モニタ」を選択し、**受信** ボタンを押します。
照度が目標照度と一致している事を確認ください。

＊ 感度設定は実際に使用される環境で行ってください。

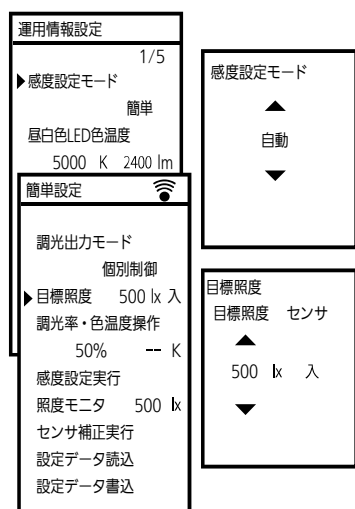
＊ コントローラ設置直後や、レイアウト変更などをした場合は、必ずこの感度設定を行ってください。

＊ 感度設定を行う場合は、昼光の影響がない夜間が確実ですが、昼間に実施する場合は、ブラインドなどを閉めて直射光が検知範囲に入らないように行ってください。

＊ コントローラの回路状態LED(黄)が速い点滅になった場合は感度設定エラーです。

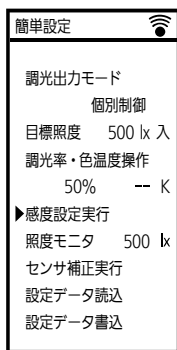
コントローラの照度センサ検知範囲と制御対象の照明器具が一致しているか確認してください。一致していない場合は、設置位置を見直すか、照度センサ部分に遮光シールを貼るなど、問題を解決してから再度、設定をやり直してください。

(2) 自動設定で感度設定を行う場合



100%調光出力時の明るさを照度計で測定し、その照度値を初期照度とし、目標の照度で自動的に運転します。

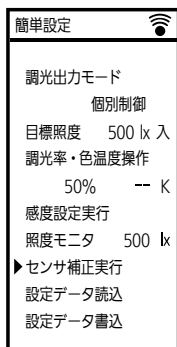
- ① **メニュー** ボタンを押し、メニュー（コントローラ）画面を表示させて、「運用情報設定」を選択し、**決定** ボタンを押します。
- ② 運用情報設定画面より「感度設定モード」を選択し、**決定** ボタンを押しポップアップ画面を開き、**+**/**-** ボタンを操作し、「自動」にして**決定** ボタンを押します。
- ③ 簡単設定画面より「目標照度」を選択し、**決定** ボタンを押しポップアップ画面を開き、「センサ」を「入」にし、**+**/**-** ボタンを操作し目標照度を選択し**決定** ボタンを押します。
- ④ 本器をコントローラに向けて**送信** ボタンを押します。
コントローラが「ピッ」と鳴り設定が完了します。



- ⑤ 本器をコントローラに向けて簡単設定画面より「感度設定実行」を選択し、**決定** ボタンを押します。
感度設定が実行され調光率100%で点灯し、正常に終了するとブザーが「ピッ」と鳴り、実行前の調光率に戻ります。
- ⑥ **戻る** ボタンを2回押し、本器をコントローラに向けて **自動・点灯** ボタンを押してください。
コントローラが「ピッ」と鳴り、自動(通常)モードで運転します。
- ⑦ 簡単設定画面より「照度モニタ」を選択し、**設定** ボタンを押します。
照度が目標照度と一致している事を確認してください。

20 センサ補正

MS681/MS682/MS681S/MS682S/MS691S/MS692S/MS692SA 必須



- レイアウト変更等の環境変化により照度センサの基準がずれた場合、センサを補正します。
この操作により、照度センサの感度の再調整が行われます。「センサ補正」は、昼光などの外乱光の無い夜間に実施してください。
- 外乱光があると正確に補正が行われず、目標の明るさになりません。
- ① **戻る** ボタンを押し、メニュー(コントローラ)画面を表示させて、「簡単設定」を選択し、**決定** ボタンを押します。
 - ② 簡単設定画面より「センサ補正実行」を選択し、本器をコントローラに向けて **決定** ボタンを押します。
コントローラが「ピッ」と鳴り、補正が完了します。

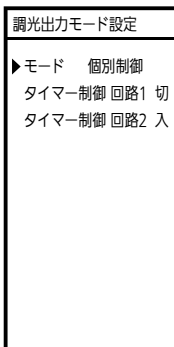
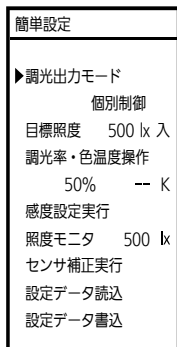
21 調光出力モードの設定

コントローラ全機種

必須

調光出力モードとして4つのモードがあります。

1. 個別制御
各回路にタイマー「入」を設定することで、運転時間により出力を変化させるタイマー制御で動作します。
タイマー「切」を設定することで、設定されている目標調光率で制御します。
※ 照度センサ「入」に設定されている場合は回路1のみタイマー「入/切」の設定に関係なく本体の照度センサの検知量に応じた調光率で制御します。
2. バランス制御
(照度センサ有機種のみ)
回路1を照度一定制御(センサ「入」)で運転し、回路1の制御(減光した調光率)に応じて任意の割合で回路2が減光します。(バランス率100%に設定すると回路1=回路2になります。)
3. 色温度制御
回路1に昼白色LED、回路2に電球色LEDを接続して、色温度および調光率を制御します。
(リモコンでの回路2操作は無効です。)
4. 昼光センサ制御
(照度センサ有機種のみ)
太陽光の明るさを検出し、検出された昼光量に応じて回路1と回路2を減光する制御を行います。
ここでは、調光率1%上下するために必要な照度(lx)を入力します。



- ① **戻る** ボタンを押し、メニュー(コントローラ)画面を表示させて、「簡単設定」を選択し、**決定** ボタンを押します。
- ② 簡単設定画面より「調光出力モード」を選択し、**決定** ボタンを押します。
- ③ 調光出力モード設定画面より「モード」を選択し、**決定** ボタンを押し、ポップアップ画面を開き **+** **-** ボタンで4つのモードのいずれかを選択し、**決定** ボタンを押します。
4つのモードは、個別制御⇒バランス制御⇒色温度制御⇒昼光センサ制御の順で替わります。
個別制御モードの場合は回路1と回路2のタイマー制御の「入/切」、バランス制御モードの場合は「バランス率」、昼光センサ制御モードの場合は回路1と回路2の「変化量」を設定してください。
- ④ 本器をコントローラに向けて **送信** ボタンを押します。
コントローラが「ピッ」と鳴り設定が完了します。

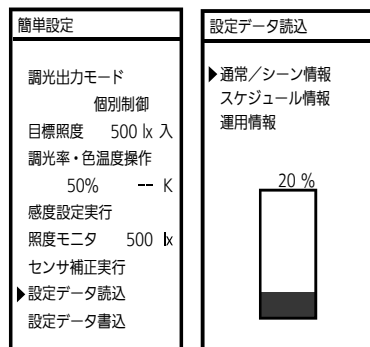
22 設定データの一括読み

コントローラ全機種

応用

コントローラの設定データを「通常設定/シーン設定」、「スケジュール設定」および「運用情報設定」(人感センサ設定、色温度設定他)の3つのブロックに分けて、リモコンで一括読みができます。

読み込み中の数十秒間(約15秒から30秒)は、本器をコントローラに向けたままにしてください。



- ① **決定** ボタンを押す、メニュー(コントローラ)画面を表示させて、「簡単設定」を選択し、**決定** ボタンを押します。
- ② 簡単設定画面より「設定データ読み」を選択し、**決定** ボタンを押します。
- ③ 設定データ読み画面より「通常/シーン情報」を選択し、本器をコントローラに向けて**決定** ボタンを押します。
- ④ コントローラが「ピッピピ」と鳴ると、「通常/シーン情報」の読み込みが開始され、「100%」表示になり、コントローラが「ピッピピ」と鳴ると、読み込みが完了します。
読み込みが失敗した場合は、**!**マークが表示されますので、再度読み込みを実施ください。
同じく「スケジュール情報」または「運用情報」の読み込みを行う場合は、②で各項目を選択して実行してください。

※ 通信線終端設定は一括読みに未対応です。

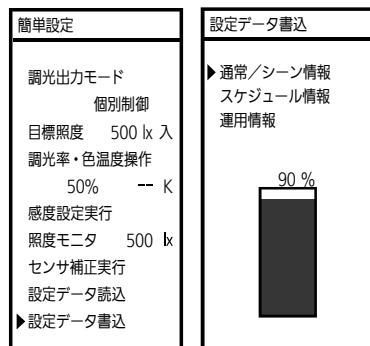
23 設定データの一括書き

コントローラ全機種

応用

リモコンの設定データを「通常設定/シーン設定」、「スケジュール設定」および「運用情報設定」(人感センサ設定、色温度設定他)の3つのブロックに分けて、コントローラに一括書き込みができます。

書き込み中の数秒間(約5秒から10秒)は、本器をコントローラに向けたままにしてください。



- ① **決定** ボタンを押す、メニュー(コントローラ)画面を表示させて、「簡単設定」を選択し、**決定** ボタンを押します。
- ② 簡単設定画面より「設定データ書き」を選択し、**決定** ボタンを押します。
- ③ 設定データ書き画面より「通常/シーン情報」を選択し、本器をコントローラに向けて**決定** ボタンを押します。
- ④ コントローラが「ピッ」と鳴ると、通常/シーン情報の書き込みが開始され、「100%」表示になり、コントローラが「ピッ」と鳴ると、書き込みが完了します。
同じく「スケジュール情報」または「運用情報」の書き込みを行う場合は、②で各項目を選択して実行してください。

※ 通信線終端設定は一括書き込みに未対応です。

24 照度センサの動作確認

MS681/MS682/MS681S/MS682S/MS691S/MS692S/MS692SA 応用

照度センサの動作確認の方法を示します。

1	P11「14 調光信号線の接続確認」を行います。
2	P14「19 照度センサの感度設定」を行います。
3	コントローラの回路状態LED(黄)の点灯・点滅(ランプ異常)が無いことを確認します。 (P6「6 コントローラのLED表示」参照)
4	調光率一定制御運転の設定(「照度切」の状態)をしていないことを確認します。 (「25 照度一定制御運転、マニュアル操作の設定」参照) 出荷時設定「照度入」
5	自動調光状態で照度センサの受光部を手などで覆い、対応する回路の照明器具が明るくなることを確認します。
6	懐中電灯で受光部を照らし、対応する回路の照明器具が暗くなることを確認します。

25 照度一定制御運転、マニュアル操作の設定

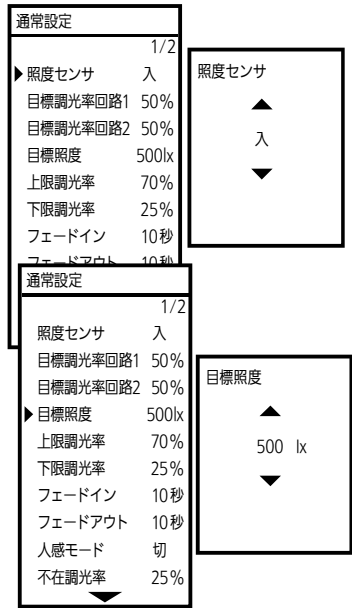
MS681/MS682/MS681S/MS682S/MS691S/MS692S/MS692SA 応用

(1) 照度一定制御運転の設定

通常、シーン1～6では、照度センサの検知量に応じて、自動的に出力を変化させ、目標照度になるように制御します。

コントローラの導入初期およびレイアウト変更時に実施します。

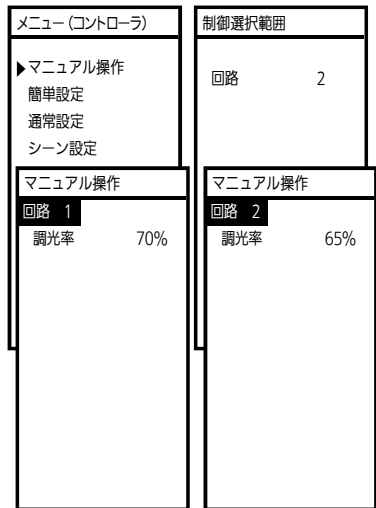
出荷時設定(目標照度500 lx、照度センサ入、上限調光率71%、下限調光率25%)で使用する場合、この設定は必要ありません。
ここでは、通常時の照度一定制御運転の設定(目標照度500 lx、照度センサ入、上限調光率 80%、下限調光率 20%)について説明します。



- ① [メニュー] ボタンを押し、メニュー(コントローラ)画面を表示させて、「通常設定」を選択し、[決定] ボタンを押します。
- ② 通常設定画面より「照度センサ」を選択し、[決定] ボタンを押しポップアップ画面を開き、「入」を選択し、[決定] ボタンを押します。
- ③ 次に通常設定画面より「目標照度」を選択し、[決定] ボタンを押しポップアップ画面を開き、[+] [-] ボタンを操作し、500 lxを選択し[決定] ボタンを押します。
- ④ 本器をコントローラに向けて[送信] ボタンを押します。
コントローラが「ピッ」と鳴り、設定が完了します。
- ⑤ 同様の手順で「上限調光率」を 80%、「下限調光率」を 20%に設定します。
(項目毎に本器をコントローラに向け[送信] ボタンを押してください。)
- ⑥ 過剰な太陽光が入射している場合、コントローラが明るいと判断し、調光率を下げ過ぎて暗くなるため下限調光率を設定ください。逆に、壁スイッチにより部分的に照明器具が消灯された場合、コントローラが暗いと判断し、調光率を上げ過ぎて明るくなるため、上限調光率を設定ください。

※ 通常設定画面で確認したい項目を選択し、[受検] ボタンを押すと、現在の設定値が確認できます。

(2) マニュアル操作の設定



- ① [メニュー] ボタンを押し、メニュー(コントローラ)画面を表示させて、「マニュアル操作」を選択し、[決定] ボタンを押します。
- ② マニュアル操作画面で[切替] ボタンをダブルクリックします。
- ③ 制御選択範囲画面で [+] [-] ボタンを操作し、固定調光率で運転したい回路番号を表示させ[決定] ボタンを押します。
- ④ [+] [-] ボタン操作し、設定したい調光率を表示させ、コントローラに向けて[送信] ボタンを押します。
コントローラが「ピッ」と鳴り、設定が完了します。

26 消灯制御の設定

MS681/MS682/MS681S/MS682S/MS691S/MS692S/MS692SA 応用

「25 照度一定制御運転の設定」で下限調光率を0%に設定すると、昼間明るいときに照明器具を消灯させることができます。このとき、照明器具光の変化で照明の点滅を繰り返すのを防ぐため、チャタリング防止設定を行います。消灯制御でチャタリングが発生しない場合は必要ありませんが、頻繁に点滅を繰り返す場合は以下の操作を行ってください。

メニュー(コントローラ)	運用情報設定
マニュアル操作	▲ 4/5
簡単設定	昼光補正 100 %
通常設定	異常表示 入
シーン設定	調光周波数切替 1KHz
日時設定	調光信号Duty設定 30.5 %
スケジュール設定	▶ チャタリング設定 90.5 %
▶ 運用情報設定	
特殊操作	
通信設定	
ワイヤレス設定	

- ① **メニュー**ボタンを押し、メニュー(コントローラ)画面を表示させて、「運用情報設定」を選択し、**決定**ボタンを押します。
- ② 運用情報設定画面より「チャタリング設定」を**決定**ボタンを押してポップアップ画面が開き、**+**/**-**ボタンを操作し、数値を変更し、**決定**ボタンを押します。
チャタリングが発生する場合→数値を大きくする。(100%に近づける)
チャタリングは発生しないが、消灯しない場合→数値を小さくする。(0%に近づける)
- ③ 本器をコントローラに向けて**送信**ボタンを押します。
コントローラが「ピッ」と鳴り、設定が完了します。
- ④ 設定完了後、動作を確認してください。

27 初期照度補正タイマーの設定

コントローラ全機種

応用

照度センサを「切」にし、経過時間で出力を制御するタイマー制御に関する初期照度補正時間、初期照度補正調光率、運転経過時間、初期照度補正リセットの設定・操作を行います。

(1) 初期照度補正時間及び初期照度補正調光率の設定

メニュー(コントローラ)	運用情報設定
マニュアル操作	▲ 2/5
簡単設定	▶ 初期照度補正時間 60000 時間
通常設定	初期照度補正調光率 70 %
シーン設定	初期照度補正モニタ ① 切 ② 入
日時設定	運転経過時間 ① 0h ② 0h
スケジュール設定	人感センサオフセット センター 128 幅 100
▶ 運用情報設定	
特殊操作	
通信設定	
ワイヤレス設定	

使用するLED照明器具の保守率の情報より時間と調光率を入手してください。

- ① **メニュー**ボタンを押し、メニュー(コントローラ)画面を表示させて、「運用情報設定」を選択し、**決定**ボタンを押します。
- ② 運用情報設定画面より「初期照度補正時間」を選択し**決定**ボタンを押してポップアップ画面を開き、**+**/**-**ボタンを操作し、初期照度補正時間を選択し**決定**ボタンを押します。
- ③ 本器をコントローラに向けて**送信**ボタンを押します。
コントローラが「ピッ」と鳴り、設定が完了します。
- ④ 次に運用情報設定画面より「初期照度補正調光率」を選択し、**決定**ボタンを押してポップアップ画面を開き、**+**/**-**ボタンを操作し、初期照度補正調光率を選択し**決定**ボタンを押します。
- ⑤ 本器をコントローラに向けて**送信**ボタンを押します。
コントローラが「ピッ」と鳴り、設定が完了します。

※「初期照度補正時間」または「初期照度補正調光率」を選択し、**受信**ボタンを押すと、現在の設定値が確認できます。

(2) 初期照度補正の運転経過時間モニタ

運用情報設定
▲ 2/5
初期照度補正時間 60000 時間
初期照度補正調光率 70 %
初期照度補正モニタ ① 切 ② 入
▶ 運転経過時間 ① 0h ② 0h
人感センサオフセット センター 128 幅 100

リモコンから初期照度補正機能の運転経過時間を確認できます。

- ① **メニュー**ボタンを押し、メニュー(コントローラ)画面を表示させて、「運用情報設定」を選択し、**決定**ボタンを押します。
- ② 運用情報設定画面より「運転経過時間」を選択し、**決定**ボタンを押してポップアップ画面を開き、**+**/**-**ボタンを操作し、初期照度補正時間を選択し**決定**ボタンを押します。
- ③ 本器をコントローラに向けて**受信**ボタンを押します。
コントローラが「ピッ」と鳴り、回路1,回路2の運転経過時間がモニタできます。

※ **送信**ボタンを押すと、表示されている経過時間がコントローラに書き込まれますので注意してください。

(3) 初期照度補正の運転経過時間のリセット

特殊操作	実行しますか？
▲ 1/3	▶ はい
オプション操作	いいえ
センサ補正	リモコンをコントローラに向けてください。
▶ 初期照度補正リセット 実行	
初期設定プリセット 工場出荷値	
リモコンメモリアップ 内部処理実行	

リモコンから初期照度補正機能の運転経過時間をリセットできます。LED照明器具の交換を行った際に実施ください。

- ① **メニュー**ボタンを押し、メニュー(コントローラ)画面を表示させて、「特殊操作」を選択し、**決定**ボタンを押します。
- ② 特殊操作画面より「初期照度補正リセット」を選択し、**決定**ボタンを押してポップアップ画面を開き、「はい」を選択し、本器をコントローラに向け**決定**ボタンを押します。
コントローラが「ピッ」と鳴り、リセットが完了します。

シーンボタンの操作、外部接点信号の入力、またはスケジュールで再現される明るさを設定します。

シーンボタンの操作およびスケジュールでは、シーン1～6の6つのシーンが再現できます。

接点入力では、接点1＝閉でシーン1、接点2＝閉でシーン2が実行されます。接点出力では、シーン1実行で接点1が閉、シーン2実行で接点2が閉になります。

照度センサの「入/切」、目標調光率、目標照度、上限・下限調光率、シーン移行時のフェード時間(フェードイン・フェードアウト)、人感モード、不在調光率、保持時間、不在フェード、OFFディレー時間、色温度を通常設定と同様、6つのシーンにおいてそれぞれ独立に設定できます。

(シーン設定例:目標照度)

メニュー(コントローラ)	シーン1設定
マニュアル操作	1/2
簡単設定	照度センサ 入
通常設定	目標調光率回路1 50%
▶シーン設定	目標調光率回路2 50%
日時設定	▶目標照度 500lx
スケジュール設定	上限調光率 70%
運用情報設定	下限調光率 25%
特殊操作	フェードイン 10秒
通信設定	フェードアウト 10秒
ワイヤレス設定	人感モード 切
	不在調光率 25%

- ① **メニュー**ボタンを押し、メニュー(コントローラ)画面を表示させて、「シーン設定」を選択し、**決定**ボタンを押します。
- ② シーン設定画面より**切替**ボタンを押し、シーンを切替えます。
- ③ シーン設定画面より「目標照度」を選択し、**決定**ボタンを押し、ポップアップ画面を開き、**△▽**ボタンを操作して、目標照度を選択し**決定**ボタンを押します。
- ④ 本器をコントローラに向けて**送信**ボタンを押します。
コントローラが「ピッ」と鳴り、設定が完了します。

注意: プロジェクターなどの外乱光により影響を受ける場合は、照度センサ「切」を設定下さい。

29 登録されたシーンを再現

シーン1 運転中
2019 年 5月 1日 20時 39分 ●
シーン 1
回路 1
調光率

%
色温度

K

「28 シーンの設定」で、あらかじめ設定したシーンを、簡単な操作で再現することができます。

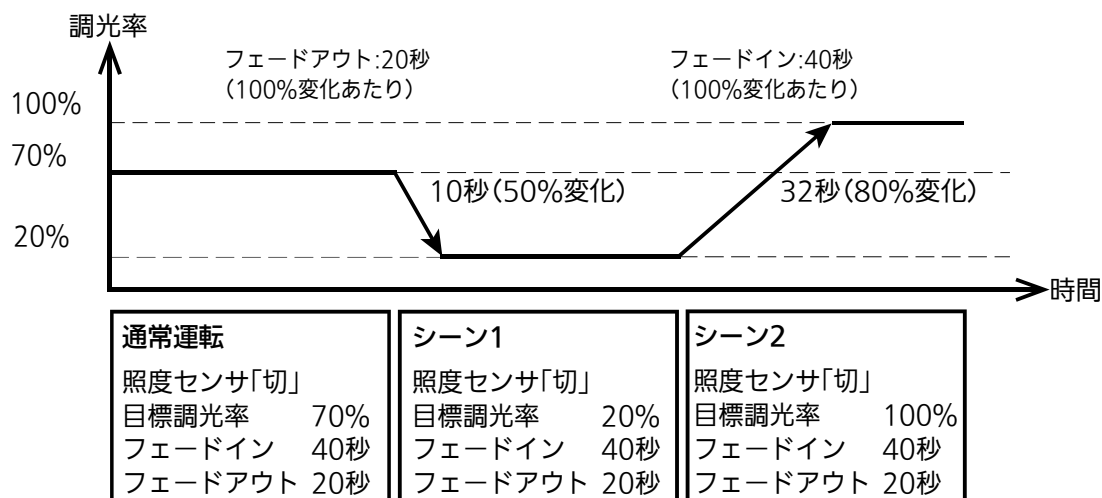
- ① 左記の操作画面より**切替**ボタンを押し、シーンの切り替わりを確認しながら、間隔を空けて**切替**ボタンを押します。
シーンが1→2→3→4→5→6→1と切替わります。
- ② 本器をコントローラに向けて**実行**ボタンを押します。
実行ボタンをダブルクリックすると設定されたフェード時間がキャンセルされ、シーンが実行されます。
色温度の制御は、調光出力モードが「色温度制御」モード時のみ制御されます。

30 フェード時間の設定

通常およびシーン1～6の7つのモードに移行するときの調光率の変化スピードをフェードインおよびフェードアウトで設定できます。100%変化するのに要する時間を設定します。設定範囲は0～180秒(1秒単位)、240～4680秒(60単位)[100%変化当たり]となります。

(移行先のフェードが反映され、移行先の調光率が高い場合はフェードイン、低い場合はフェードアウトの時間を反映します。)

【設定例】



次ページ(P18)に本設定例の設定方法を示します。

メニュー(コントローラ)	
マニュアル操作	
簡単設定	通常設定
▶通常設定	1/2
シーン設定	照度センサ 入
日時設定	目標調光率回路1 70%
スケジュール	目標調光率回路2 50%
運用情報設定	目標照度 750lx
特殊操作	上限調光率 100%
通信設定	下限調光率 25%
ワイヤレス	フェードイン 10秒
	フェードアウト 10秒
	切
シーン1設定	25%
1/2	
照度センサ	切
目標調光率回路1	20%
目標調光率回路2	20%
目標照度	750lx
上限調光率	100%
下限調光率	20%
フェードイン	20秒
フェードアウト	10秒
人感モード	切
不在調光率	25%
	シーン2設定
	1/2
	照度センサ 切
	目標調光率回路1 100%
	目標調光率回路2 100%
	目標照度 750lx
	上限調光率 100%
	下限調光率 20%
	フェードイン 40秒
	フェードアウト 40秒
	人感モード 切
	不在調光率 25%

- ① **メニュー(コントローラ)** ボタンを押す、メニュー(コントローラ)画面を表示させて、「通常設定」を選択し、**決定** ボタンを押します。
- ② 通常設定画面より「照度センサ」を選択し、**決定** ボタンを押してポップアップ画面を開き「切」を選択し**決定** ボタンを押します。
- ③ 通常設定画面より「目標調光率回路1」を選択し、**決定** ボタンを押してポップアップ画面を開き **+**/**-** ボタンを操作し「70%」を選択し**決定** ボタンを押します。
- ④ 本器をコントローラに向けて、照度センサ、目標調光率回路1のそれぞれの欄で **送信** ボタンを押します。
コントローラが「ピッ」と鳴り、設定が完了します。(項目毎に **送信** ボタンを押してください。)
- ⑤ シーン1設定画面より「目標調光率回路1」を選択し**決定** ボタンを押してポップアップ画面を開き **+**/**-** ボタンを操作し「20%」を選択し**決定** ボタンを押します。同様に照度センサ「切」、フェードイン・フェードアウト「20秒」に設定します。
- ⑥ 本器をコントローラに向けて、目標調光率回路1、照度センサ、フェードイン・フェードアウトのそれぞれの欄で **送信** ボタンを押します。
コントローラが「ピッ」と鳴り、設定が完了します。(項目毎に **送信** ボタンを押してください。)
- ⑦ シーン1設定画面で、**切替** ボタンを押す、シーン2を表示させます。
- ⑧ シーン2設定画面より「目標調光率回路1」を選択し**決定** ボタンを押してポップアップ画面を開き **+**/**-** ボタンを操作し「100%」を選択し**決定** ボタンを押します。
同様に照度センサ「切」、フェードイン・フェードアウト「40秒」に設定します。
- ⑨ 本器をコントローラに向けて、目標調光率回路1、照度センサ、フェードイン・フェードアウトのそれぞれの欄で **送信** ボタンを押します。
コントローラが「ピッ」と鳴り、設定が完了します。(項目毎に **送信** ボタンを押してください。)

※ シーン設定画面で、確認したい項目を選択し、**受信** ボタンを押すと、現在の設定値が確認できます。

31 色温度制御の設定

MS681/MS682/MS681S/MS682S/MS683S/MS684SA

応用

コントローラの調光出力モードを「色温度制御」に設定する場合、下記の設定を実施します。

予め使用する照明器具の色温度、光出力の情報を入手してください。

(1) 昼白色LEDの色温度と光出力を設定する。

メニュー(コントローラ)	
マニュアル操作	
簡単設定	
通常設定	
シーン設定	
日時設定	
スケジュール設定	
▶運用情報設定	1/5
特殊操作	感度設定モード 簡単
通信設定	単入
ワイヤレス設定	初期照度
	1000 lx

昼白色LED	
色温度	光出力
5000 K	2400 lm

- ① **メニュー(コントローラ)** ボタンを押す、メニュー(コントローラ)画面を表示させて、「運用情報設定」を選択し、**決定** ボタンを押します。
- ② 運用情報設定画面より「昼白色LED色温度」を選択し、**決定** ボタンを押してポップアップ画面を開き、**+**/**-** ボタンを操作して、色温度を選択します。
さらに **+**/**-** ボタンで移動し、**+**/**-** ボタンで光出力を選択し**決定** ボタンを押します。
- ③ 本器をコントローラに向けて、**送信** ボタンを押します。
コントローラが「ピッピッ」と鳴ると設定が完了します。

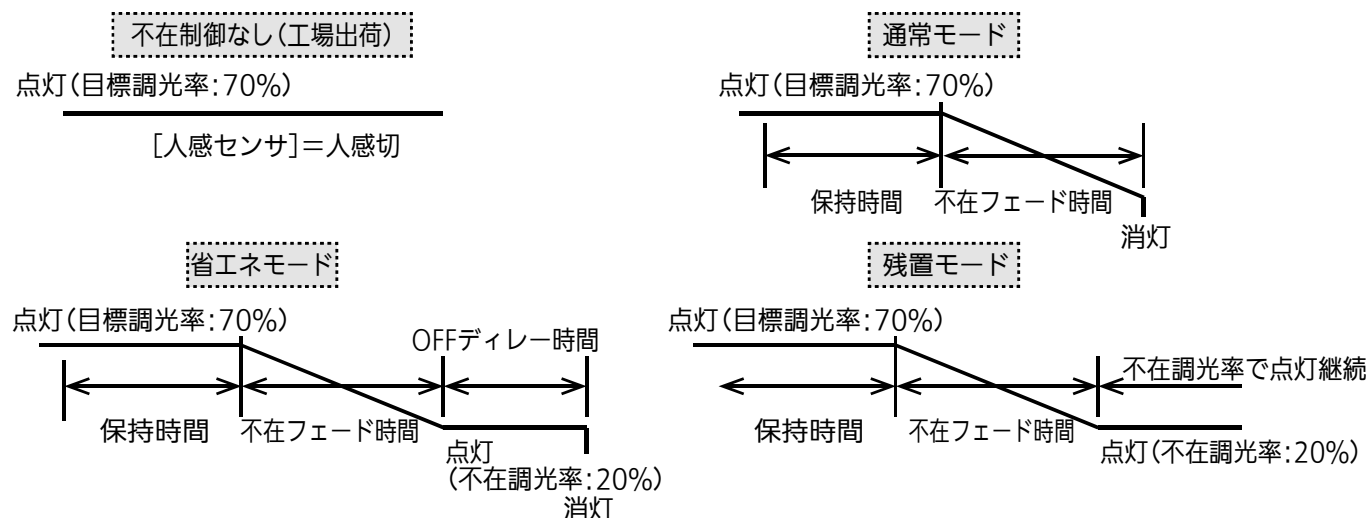
(2) 電球色LEDの色温度と光出力を設定する。

メニュー(コントローラ)	
マニュアル操作	
簡単設定	
通常設定	
シーン設定	
日時設定	
スケジュール設定	
▶運用情報設定	1/5
特殊操作	感度設定モード 簡単
通信設定	単入
ワイヤレス設定	初期照度
	1000 lx

電球色LED	
色温度	光出力
3000 K	1900 lm

- ① **メニュー(コントローラ)** ボタンを押す、メニュー(コントローラ)画面を表示させて、「運用情報設定」を選択し、**決定** ボタンを押します。
- ② 運用情報設定画面より「電球色LED色温度」を選択し、**決定** ボタンを押してポップアップ画面を開き、**+**/**-** ボタンを操作して、色温度を選択します。
さらに **+**/**-** ボタンで移動し、**+**/**-** ボタンで光出力を選択し**決定** ボタンを押します。
- ③ 本器をコントローラに向けて、**送信** ボタンを押します。
コントローラが「ピッピッ」と鳴ると設定が完了します。

人の不在時(人感センサが人を検知しなくなった時)の動作は、下の図に示すように4つのパターンで運転することができます。また、人の不在を検知した後も明るさを保持する「保持時間」、保持時間経過後の「不在フェード時間」、「不在調光率」、消灯するまでの「OFFディレイ時間」を設定することができます。



(1) 人感センサ情報の設定

ここでは、通常設定における省エネモードで不在調光率「10%」、保持時間「60秒」、不在フェード時間「60秒」、OFFディレイ時間「120秒」の場合の設定について説明します。

通常設定		人感モード	
照度センサ	入	▲	省エネ
目標調光率回路1	70%	▼	
目標調光率回路2	50%		
目標照度	750lx		
上限調光率	100%		
下限調光率	25%		
フェードイン	10秒		
フェードアウト	10秒		
▶人感モード	切		
不在調光率	25%		

通常設定		保持時間	
2/2	▲	▲	60 秒
▶保持時間	300 秒	▼	
不在フェード	10 秒		
OFFディレイ	300 秒		
色温度	5000 K		

通常設定		不在フェード	
	▲	▲	60 秒
	▼	▼	

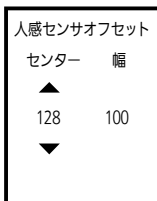
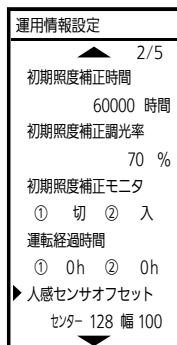
通常設定		OFFディレイ	
	▲	▲	120 秒
	▼	▼	

- ① **メニュー** ボタンを押し、メニュー(コントローラ)画面を表示させて、「通常設定」を選択し、**決定** ボタンを押します。
- ② 通常設定画面より「人感モード」を選択し、**決定** ボタンを押し、ポップアップ画面を開き、**+**/**-** ボタンを操作し「省エネ」を選択し、**決定** ボタンを押します。
本器をコントローラに向けて **送信** ボタンを押します。
コントローラが「ピッ」と鳴り設定が完了します。
- ③ 通常設定画面より、「不在調光率」を選択し、**決定** ボタンを押し、ポップアップ画面を開き、**+**/**-** ボタンを操作し「10%」を選択し、**決定** ボタンを押します。
本器をコントローラに向けて **送信** ボタンを押します。
コントローラが「ピッ」と鳴り設定が完了します。
- ④ 通常設定画面より、「保持時間」を選択し、**決定** ボタンを押し、ポップアップ画面を開き、**+**/**-** ボタンを操作し「60秒」を選択し、**決定** ボタンを押します。
本器をコントローラに向けて **送信** ボタンを押します。
コントローラが「ピッ」と鳴り設定が完了します。
- ⑤ 通常設定画面より、「不在フェード」を選択し、**決定** ボタンを押し、ポップアップ画面を開き、**+**/**-** ボタンを操作し「60秒」を選択し、**決定** ボタンを押します。
本器をコントローラに向けて **送信** ボタンを押します。
コントローラが「ピッ」と鳴り設定が完了します。
- ⑥ 通常設定画面より、「OFFディレイ」を選択し、**決定** ボタンを押し、ポップアップ画面を開き、**+**/**-** ボタンを操作し「120秒」を選択し、**決定** ボタンを押します。
本器をコントローラに向けて **送信** ボタンを押します。
コントローラが「ピッ」と鳴り設定が完了します。

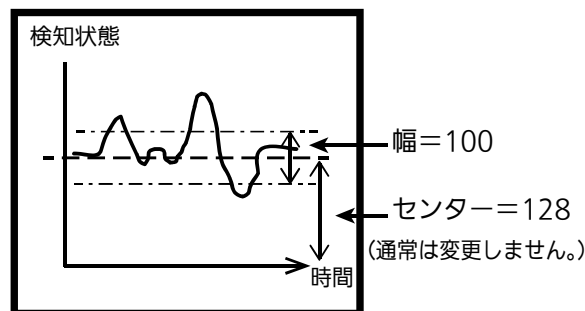
※ 通常設定画面で、確認したい項目を選択し、**送信** ボタンを押すと、現在の設定値が確認できます。

(2) 人感センサの検知レベルの設定

ここでは、人感センサの検知感度を設定します。人感センサの反応が過敏な場合や鈍い場合に実施ください。



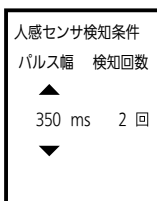
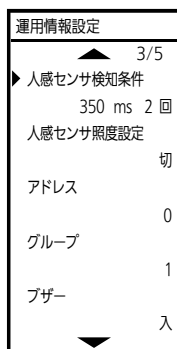
- ① **メニュー**ボタンを押し、メニュー(コントローラ)画面を表示させて、「運用情報設定」を選択し、**決定**ボタンを押します。
- ② 運用情報設定画面より「人感センサオフセット」を選択し、**決定**ボタンを押しポップアップ画面を開き、**+**/**-**ボタンを操作し、「センター」の数値を選択します。
センターの出荷設定は「128」になります。(通常は変更しません。)



- ③ 次に**→**ボタン操作で「幅」に移動し**+**/**-**ボタンを操作して、数値を選択し、**決定**ボタンを押します。
幅の出荷時設定は「100」になります。
検知範囲は、信号に対する数値になります。
※ 人感センサの反応が過敏な時は「幅」の値を大きくしてください。
鈍い場合には「幅」の値を小さくしてください。
- ④ 本器をコントローラに向けて**送信**ボタンを押します。
コントローラが「ピッ」と鳴り設定が完了します。

(3) 人感センサ検知条件の設定

ここでは、人感センサの突発性ノイズ現象による誤動作を防止する設定を行います。



- ① **メニュー**ボタンを押し、メニュー(コントローラ)画面を表示させて、「運用情報設定」を選択し、**決定**ボタンを押します。
- ② 運用情報設定画面より「人感センサ検知条件」を選択し、**決定**ボタンを押しポップアップ画面を開き、**+**/**-**ボタンを操作し、「パルス幅」の数値を選択します。
パルス幅の出荷時設定は「350ms」になります。
- ③ 次に**→**ボタン操作で「検知回数」に移動し、**+**/**-**ボタンを操作して、数値を選択し、**決定**ボタンを押します。
検知回数の出荷時設定は「2回」になります。
- ④ 本器をコントローラに向けて**送信**ボタンを押します。
コントローラが「ピッ」と鳴り設定が完了します。

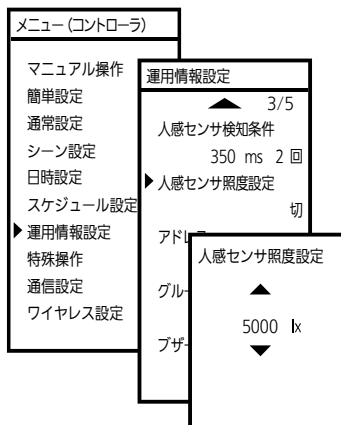
※ 突発性ノイズ現象による誤動作は、1日数回発生することがありますが、保持時間経過により不在制御後に消灯します。
反応を優先する場合は、パルス幅50ms、検知回数1回に設定してください。

33 昼間に在検知で点灯しない設定

MS682/MS682S

応用

人感センサが人を検知しても、昼間明るいときは点灯しないように設定できます。



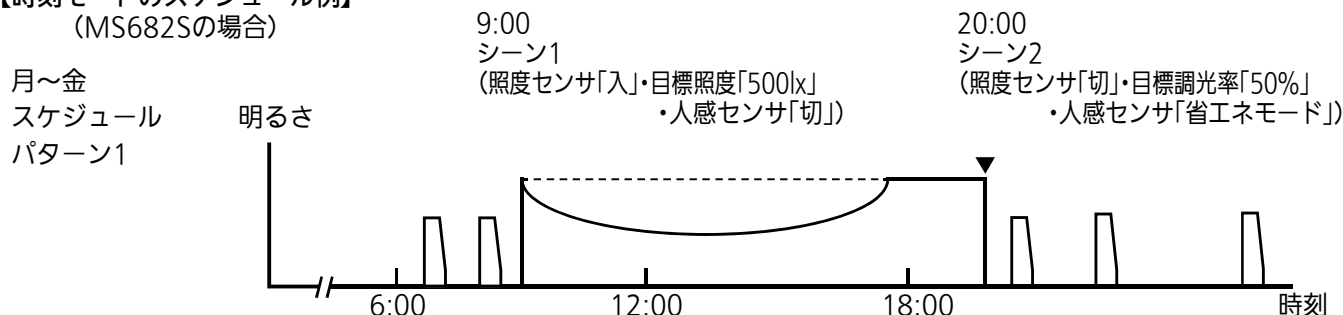
- ① **メニュー**ボタンを押し、メニュー(コントローラ)画面を表示させて、「運用情報設定」を選択し、**決定**ボタンを押します。
- ② 運用情報設定画面より「人感センサ照度設定」を選択し、**決定**ボタンを押しポップアップ画面を開き、**+**/**-**ボタンを操作して「照度(明るさ)」を選択し、**決定**ボタンを押します。
明るさは、10～5000lxまで設定可能です。
- ③ 本器をコントローラに向けて**送信**ボタンを押します。
コントローラが「ピッ」と鳴り設定が完了します。

スケジュールには、予め設定された時刻で動作する「時刻モード」と経過時間で動作する「タイマーモード」があります。時刻モードでは、スケジュールパターン、週間スケジュール、年間スケジュールの設定を行います。まず、スケジュールパターンの設定において、予め設定した通常・シーン1～6を時刻ステップに対して割り付けます。次に、各曜日に対して設定されたスケジュールパターンを割り付けます。

1. 時刻モードの設定

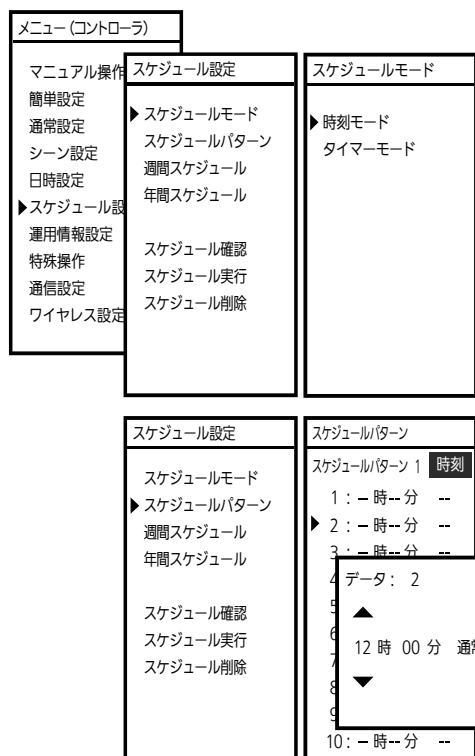
【時刻モードのスケジュール例】

(MS682Sの場合)



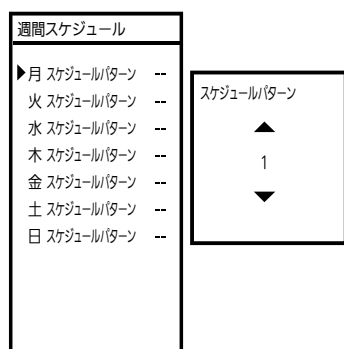
※ スケジュールパターンを設定していない日は、リモコン操作等を行わない限り、前日23:59の状態が継続します。
(上の例では土・日はシーン2が継続します。)

(1) スケジュールパターンの設定



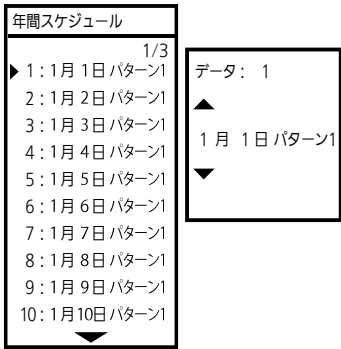
- ① ボタンを押し、メニュー(コントローラ)画面を表示させて、「スケジュール設定」を選択し、 ボタンを押します。
- ② スケジュール設定画面より「スケジュールモード」を選択し、 ボタンを押します。スケジュールモード画面より「時刻モード」を選択し、 ボタンを押しポップアップ画面を開き「はい」を選択し、本器をコントローラに向けて ボタンを押します。コントローラが「ピッ」と鳴り設定が完了します。
- ③ 次にスケジュール設定画面より「スケジュールパターン」を選択し ボタンを押します。
- ④ スケジュールパターン画面で「時間」と実行する「通常」「シーン1～6」を設定します。
- ⑤ データ番号1～10の時刻と制御内容(通常/シーン1～6)を設定するため、設定したいデータ番号にカーソルを合せ ボタンを押しポップアップ画面を開きます。
- ⑥ ボタンを操作して、時、分、制御内容を選択し ボタンを押します。
- ⑦ 必要なデータ番号を入力完了後、本器をコントローラに向けて ボタンを押します。コントローラが「ピッピッ」と鳴り設定が完了します。
- ⑧ ボタンを押すと、コントローラに設定されている内容を確認できます。
- ⑨ スケジュールパターン番号を1～4に切替える場合は、 ボタンを押します。

(2) 週間スケジュールの設定



- ① ボタンを押し、メニュー(コントローラ)画面を表示させて、「スケジュール設定」を選択し、 ボタンを押します。
- ② スケジュール設定画面より「週間スケジュール」を選択し、 ボタンを押します。
- ③ 週間スケジュール画面より、曜日を選択してスケジュールパターンを割り当てます。設定したい曜日にカーソルを合せ ボタンを押しポップアップ画面を開きます。
- ④ ボタンを操作し、スケジュールパターン1～4を選択し、 ボタンを押します。
- ⑤ 本器をコントローラに向けて ボタンを押します。コントローラが「ピッピッ」と鳴り設定が完了します。
- ⑥ ボタンを押すと、コントローラに設定されている内容を確認できます。

(3) 年間スケジュールの設定

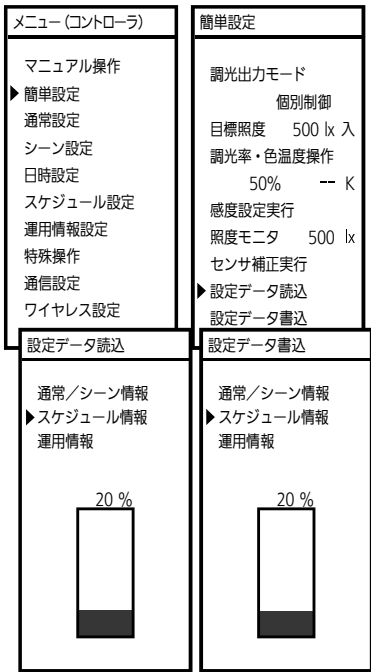


- ① **決定** ボタンを押す、メニュー(コントローラ)画面を表示させて、「スケジュール設定」を選択し、**決定** ボタンを押します。
- ② スケジュール設定画面より「年間スケジュール」を選択し、**決定** ボタンを押します。
- ③ 年間スケジュール画面より、データ番号(30日分)を選択しスケジュールパターンを割り当てます。
設定したいデータにカーソルを合せ **決定** ボタンを押すポップアップ画面を開きます。
- ④ **決定** ボタンを操作し、日付の設定とスケジュールパターン1～4を選択し、**決定** ボタンを押します。
- ⑤ 必要なデータ番号の入力完了後、本器をコントローラに向けて **送信** ボタンを押します。
コントローラが「ピッピッ」と鳴り設定が完了します。
- ⑥ **受信** ボタンを押すと、コントローラに設定されている内容を確認できます。

※ 1年のうち、30日を指定してパターン設定が可能です。指定したパターンは指定日のみ(翌日0:00まで)有効です。

(4) スケジュールパターンの確認およびコピー

ここでは設定されたスケジュールパターンを全て読み込み、他のコントローラへ設定(コピー)する手順について説明します。



- ① **決定** ボタンを押す、メニュー(コントローラ)画面を表示させて、「簡単設定」を選択し、**決定** ボタンを押します。
- ② スケジュール情報を読み込みます。
 - ・簡単設定画面より「設定データ読み込み」を選択し、**決定** ボタンを押します。
 - ・次に設定データ読み込み画面より「スケジュール情報」を選択し、本器をコントローラに向けて **決定** ボタンを押します。
(読み込み中、約30秒間は本器をコントローラに向けたままにしてください。)
 - ・コントローラが「ピッ」と鳴るとスケジュール情報の読み込みが開始され、「100%表示」になり、コントローラが「ピッ」と鳴ると読み込みが完了します。
受信が失敗した場合は、**!**マークが表示されますので、再度読み込みを実施してください。
- ③ スケジュール情報を書込みます。
 - ・簡単設定画面より「設定データ書き込み」を選択し、**決定** ボタンを押します。
 - ・次に設定データ書き込み画面より「スケジュール情報」を選択し、本器をコントローラに向けて **決定** ボタンを押します。
(書き込み中、約15秒間は本器をコントローラに向けたままにしてください。)
 - ・コントローラが「ピッ」と鳴るとスケジュール情報の書き込みが開始され、「100%表示」になり、コントローラが「ピッ」と鳴ると書き込みが完了します。

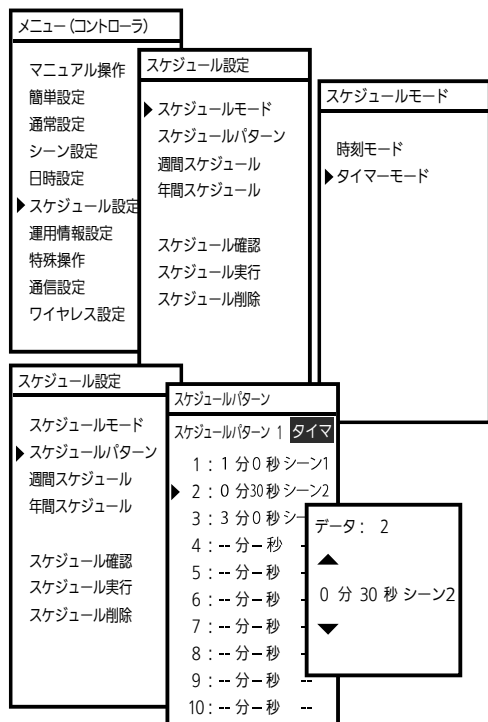
2. タイマーモードの設定

タイマーモードは、設定時間毎に設定されたシーンを順に実行します。また、人感センサと組み合わせることが可能です。ここでは、ショールームなどを想定し、人を検知して色温度や明るさを変化させる使用例を示します。

【タイマーモードのスケジュール例】
(MS682Sの場合)

人感センサ	不在		在		
	通常・消灯	シーン1 60秒	シーン2 30秒	シーン3 180秒	
制御内容					
照明状態	明るさ	0%	30%	50%	30%
色温度		3000K	4000K	5000K	3000K

(1) スケジュールパターンの設定

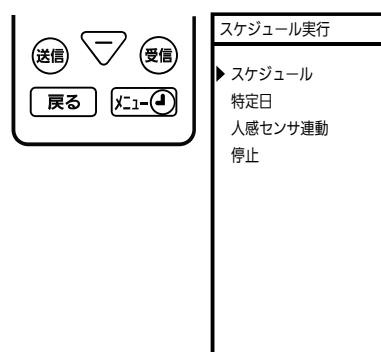


- ① **メニュー (コントローラ)** ボタンを押し、メニュー (コントローラ) 画面を表示させて、「スケジュール設定」を選択し、**決定** ボタンを押します。
 - ② スケジュール設定画面より「スケジュールモード」を選択し、**決定** ボタンを押します。スケジュールモード画面より「タイマーモード」を選択し、**決定** ボタンを押しポップアップ画面を開き「はい」を選択して本器をコントローラに向けて **決定** ボタンを押します。コントローラが「ピッ」と鳴り設定が完了します。
 - ③ 次にスケジュール設定画面より「スケジュールパターン」を選択し、**決定** ボタンを押します。
 - ④ スケジュールパターン画面で「時間」と実行する「通常」「シーン」を設定します。(データ番号1～10の分、秒、制御内容(通常/シーン1～6)を設定します。)カーソルを設定したい番号に合せ **決定** ボタンを押しポップアップ画面を開きます。
 - ⑤ **+** **-** ボタンを操作し、分、秒、制御内容を設定し **決定** ボタンを押します。
 - ⑥ 必要なデータ番号の入力完了後、本器をコントローラに向けて **送信** ボタンを押します。コントローラが「ピッ」と鳴り設定が完了します。
 - ⑦ **受信** ボタンを押すと、コントローラに設定されている内容を確認できます。
 - ⑧ スケジュールパターン番号を1～4に切替える場合は、**切替** ボタンを押します。
- ※ 週間スケジュールおよび年間スケジュール設定については「時刻モード」と同様に必ず設定してください。
人を検知してスケジュールを動作する場合は、スケジュール実行の「人感センサ連動」でスケジュールを実行してください。

35 スケジュールの実行

MS681S/MS682S/MS683S/MS684SA/MS691S/MS692S/MS692SA/MS711S 応用

スケジュール運転の実行中に **自動・点灯** **+** **-** **消灯** **実行** ボタンの操作または設定操作を行った場合、スケジュール運転が停止します。スケジュール運転を再開したい場合は、この操作を行ってください。



- ① メイン画面より、**メニュー (コントローラ)** ボタンをダブルクリックし、スケジュール実行画面を開きます。
 - ② 「スケジュール」を選択し、**決定** ボタンを押します。
 - ③ 本器をコントローラに向けて、**決定** ボタンを押します。
コントローラが「ピッ」と鳴り、スケジュールの起動が完了します。
 - ・スケジュール運転中は、操作画面に **🕒** が表示されます。
 - ・スケジュールを実施した際、現在時刻の1つ前のスケジュールが実施され、その後、設定された時刻の制御内容が実施されます。
- 週間スケジュール、年間スケジュールが重なった場合は、年間スケジュールのスケジュールパターンを優先して実行します。

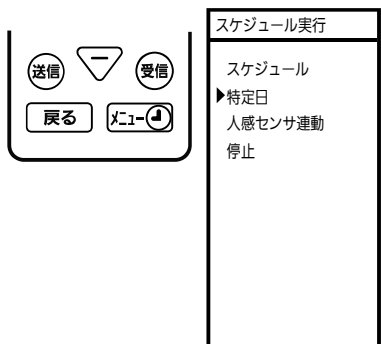
※ スケジュールの実行を **メニュー (コントローラ)** ボタン1回押して行う場合は、P33「56 メニューボタン動作モードの切替え」を参照してください。

36 特定日スケジュールの実行

MS681S/MS682S/MS683S/MS684SA/MS691S/MS692S/MS692SA/MS711S 応用

年間スケジュールおよび週間スケジュールと異なるスケジュールで運転したい場合は、当日のみ特定日スケジュールが実行できます。翌日0:00以降は、年間スケジュールおよび週間スケジュールに戻ります。

特定日スケジュールを実行すると、年間スケジュールのデータ番号「1」に設定されたスケジュールパターンで動作します。



- ① メイン画面で **メニュー (コントローラ)** ボタンをダブルクリックし、スケジュール実行画面を開きます。
- ② 「特定日」を選択し、**決定** ボタンを操作します。
- ③ 本器をコントローラに向けて、**決定** ボタンを押し、コントローラが「ピッ」と鳴り、スケジュールの起動が完了します。
 - ・スケジュール運転中は、操作画面に **🕒** が表示されます。
 - ・スケジュールを実施した際、現在時刻の1つ前のスケジュールが実施され、その後、設定された時刻の制御内容が実施されます。

37 スケジュールの動作確認

MS681S/MS682S/MS683S/MS684SA/MS691S/MS692S/MS692SA/MS711S

応用

スケジュール設定確認のため、設定されたスケジュールを時間短縮または手動で実行することができます。
 スケジュール時間短縮実行では、1時間を約6秒に短縮し、現在の曜日・時刻から順に繰り返し実行します。
 スケジュールステップ実行では、操作するたびに、スケジュールパターンのステップ1～10を順に実行します。
 ※ スケジュールの時間短縮実行は、予めスケジュール実行または特定日スケジュール実行を行ってから実施してください。

メニュー（コントローラ）	スケジュール設定
マニュアル操作 簡単設定 通常設定 シーン設定 日時設定 ▶ スケジュール設定 運用情報設定 特殊操作 通信設定 ワイヤレス設定	スケジュールモード スケジュールパターン 週間スケジュール 年間スケジュール ▶ スケジュール確認 スケジュール実行 ▶ スケジュール確認 ▶ ステップ実行 時間短縮実行 停止

- ① **メニュー** ボタンを押し、メニュー（コントローラ）画面を表示させて、「スケジュール設定」を選択し、**決定** ボタンを押します。
- ② スケジュール設定画面より「スケジュール確認」を選択し、**決定** ボタンを押します。
- ③ 「ステップ実行」または「時間短縮実行」を選択し、**決定** ボタンを押してポップアップ画面を開き「はい」を選択し、本器をコントローラに向けて **決定** ボタンを押します。
 コントローラが「ピッ」と鳴り、スケジュールが実行されます。
 ・「ステップ実行」を選択すると、実行するたびに設定内容が再現されます。
 ステップ実行は、スケジュールパターン1の1行目からスケジュールパターン4の10行目まで設定されているシーンを順番に実行します
 ・「時間短縮実行」を選択すると、1時間を約6秒に短縮し、設定内容が再現されます。
 時間短縮実行は、現在日時のスケジュールパターンから時間短縮されます。
- ④ スケジュール確認を止める場合は、「停止」を選択してください。
 スケジュール確認で「停止」した場合、現在の調光率・色温度でマニュアル運転に移行します。

38 スケジュール設定の削除

MS681S/MS682S/MS683S/MS684SA/MS691S/MS692S/MS692SA/MS711S

応用

P23「**34** スケジュールの設定」で設定したスケジュールのうち、スケジュールパターン、週間スケジュール、年間スケジュールの削除を行うことができます。

メニュー（コントローラ）	スケジュール設定
マニュアル操作 簡単設定 通常設定 シーン設定 日時設定 ▶ スケジュール設定 運用情報設定 特殊操作 通信設定 ワイヤレス設定	スケジュールモード スケジュールパターン 週間スケジュール 年間スケジュール スケジュール確認 スケジュール実行 ▶ スケジュール削除

- ① **メニュー** ボタンを押し、メニュー（コントローラ）画面を表示させて、「スケジュール設定」を選択し、**決定** ボタンを押します。
- ② スケジュール設定画面より「スケジュール削除」を選択し、**決定** ボタンを押します。
 スケジュール削除画面が開きます。

(1) スケジュールパターンの削除

スケジュール削除
▶ スケジュールパターン パターン1 パターン2 パターン3 パターン4 週間スケジュール 年間スケジュール

- ① スケジュールパターン1～4全てを削除します。
 ・ スケジュール削除画面より「スケジュールパターン」を選択し、**決定** ボタンを押してポップアップ画面を開き、「はい」を選択し、本器をコントローラに向けて **決定** ボタンを押します。
 コントローラが「ピッ」と鳴り、全てのスケジュールパターンが削除されます。
- ② スケジュールパターンを指定し削除します。
 ・ スケジュール削除画面より「パターン1～4」を選択し、**決定** ボタンを押してポップアップ画面を開き、「はい」を選択し、本器をコントローラに向けて **決定** ボタンを押します。
 コントローラが「ピッ」と鳴り、指定したスケジュールパターンが削除されます。

(2) 週間スケジュール・年間スケジュールの削除

スケジュール削除	スケジュール削除
スケジュールパターン パターン1 パターン2 パターン3 パターン4 ▶ 週間スケジュール 年間スケジュール	スケジュールパターン パターン1 パターン2 パターン3 パターン4 週間スケジュール ▶ 年間スケジュール

- ① 週間スケジュールを削除します。
 ・ スケジュール削除画面より週間スケジュールを選択し、**決定** ボタンを押してポップアップ画面を開き、「はい」を選択し、本器をコントローラに向けて **決定** ボタンを押します。
 コントローラが「ピッ」と鳴り、週間スケジュールが削除されます。
- ② 年間スケジュールを削除します。
 ・ スケジュール削除画面より年間スケジュールを選択し、**決定** ボタンを押してポップアップ画面を開き、「はい」を選択し、本器をコントローラに向けて **決定** ボタンを押します。
 コントローラが「ピッ」と鳴り、年間スケジュールが削除されます。

無電圧接点の開閉信号を入力し、予め設定した調光シーンを自動的に再現することができます。

動作モードとして、接点1および2を組合せてシーンを実行する「組合せモード」と接点1および2がそれぞれ独立して動作する「単独モード」があります。接点1の入力が閉でシーン1、接点2の入力が閉でシーン2を再現します。

(出荷時は、単独モードに設定されています。)

メニュー(コントローラ)	運用情報設定
マニュアル操作	1/5
簡単設定	感度設定モード
通常設定	簡単
シーン設定	昼白色LED色温度
日時設定	5000 K 2400 lm
スケジュール設定	電球色LED色温度
▶ 運用情報設定	3000 K 1900lm
特殊操作	▶ 接点機能切替
通信設定	単入シーン
ワイヤレス設定	初期照度
	1000 lx

※ 接点1および接点2が共に閉の時は、下記動作になります。

組合せモードの場合：シーン3実行

単独モードの場合：シーン2実行

- ① **メニュー**ボタンを押し、メニュー(コントローラ)画面を表示させて、「運用情報設定」を選択し、**決定**ボタンを押します。
- ② 運用情報設定画面より「接点機能切替」を選択し、**決定**ボタンを押します。
以下に接点1と接点2を入力シーン連動に設定する手順を示します。

(1) 個別設定の場合(単独モード)

接点機能切替
▶ 接点組合せ OFF
接点1
モード(入)シーン連動
論理 正
接点2
モード(入)シーン連動
論理 正

- ① 接点組合せを選択し、「OFF」を選択します。
- ② 接点1のモードを選択し、「(入)シーン連動」を選択します。
- ③ 接点1の論理を選択し、「正」を選択します。(接点閉で正)
- ④ 接点2のモードを選択し、「(入)シーン連動」を選択します。
- ⑤ 接点2の論理を選択し、「正」を選択します。(接点閉で正)
- ⑥ 本器をコントローラに向けて**送信**ボタンを押します。
コントローラが「ピッピッ」と鳴り、接点の機能が設定されます。

(2) 組合せ設定の場合(組合せモード)

接点機能切替
▶ 接点組合せ ON
接点 入力
論理 正
接点1 接点2 イベント
OFF OFF 通常
ON OFF シーン1
OFF ON シーン2
ON ON シーン3

- ① 接点組合せを選択し、「ON」を選択します。
- ② 接点を選択し、「入力」を選択します。
- ③ 論理を選択し、「正」を選択します。(接点閉で正)
- ④ 本器をコントローラに向けて**送信**ボタンを押します。
コントローラが「ピッ」と鳴り、接点の機能が設定されます。

40 接点入力によるスケジュールの動作

無電圧接点の開閉信号を入力し、スケジュール機能を実行、停止することができます。

接点1または接点2に割付ができます。

メニュー(コントローラ)	運用情報設定	接点機能切替
マニュアル操作	1/5	感度設定モード
簡単設定	簡単	▶ 接点組合せ OFF
通常設定	昼白色LED色温度	接点1
シーン設定	5000 K	モード(入)スケジュール連動
日時設定	電球色LED色温度	論理 正
スケジュール設定	3000 K	接点2
▶ 運用情報設定	▶ 接点機能切替	モード(入)スケジュール連動
特殊操作	単入	論理 正
通信設定	初期照度	
ワイヤレス設定		

- ① **メニュー**ボタンを押し、メニュー(コントローラ)画面を表示させて、「運用情報設定」を選択し、**決定**ボタンを押します。
- ② 運用情報設定画面より「接点機能切替」を選択し、**決定**ボタンを押します。
以下に接点1と接点2を入力スケジュール連動に設定する手順を示します。

- (a) 接点組合せを選択し、「OFF」を選択します。
- (b) 接点1のモードを選択し「(入)スケジュール連動」を選択します。
- (c) 接点1の論理を選択し、「正」を選択します。(接点閉で正)
- (b) 接点1のモードを選択し「(入)スケジュール連動」を選択します。
- (e) 接点1の論理を選択し、「正」を選択します。(接点閉で正)
- (f) 本器をコントローラに向けて**送信**ボタンを押します。
コントローラが「ピッピッ」と鳴り、接点の機能が設定されます。

41 シーン実行状態の接点出力

コントローラのシーン1およびシーン2の実行状態を、それぞれ接点1および接点2端子に無電圧信号で出力させることができます。接点1・2共に、シーンを実行していないとき：開、シーン実行中：閉です。

本器能の使用法の例としては、調光シーンに連動させて看板照明をON/OFFする等です。

動作モードとして、接点1および接点2を組合せてシーンを実行する「組合せモード」と接点1および接点2がそれぞれ独立して動作する「単独モード」があります。シーン1実行で接点1が閉、シーン2実行で接点2が閉になります。

(出荷時は、単独モードに設定されています。)

メニュー(コントローラ)	運用情報設定
マニュアル操作 簡単設定 通常設定 シーン設定 日時設定 スケジュール設定 ▶ 運用情報設定 特殊操作 通信設定 ワイヤレス設定	1/5 感度設定モード 簡単 昼白色LED色温度 5000 K 2400 lm 電球色LED色温度 3000 K 1900lm ▶ 接点機能切替 単入 シーン 初期照度 1000 lx

※ 組合せモードの場合、シーン3実行により、接点1および接点2が共に閉になります。

- ① **メニュー**ボタンを押し、メニュー(コントローラ)画面を表示させて、「運用情報設定」を選択し、**決定**ボタンを押します。
- ② 運用情報設定画面より「接点機能切替」を選択し、**決定**ボタンを押します。
以下に接点1と接点2を出力シーン連動に設定する手順を示します。

(1) 個別設定の場合(単独モード)

接点機能切替
▶ 接点組合せ OFF
接点1 モード(出) シーン連動 論理 正
接点2 モード(出) シーン連動 論理 正

- ① 接点組合せを選択し、「OFF」を選択します。
- ② 接点1のモードを選択し、「(出)シーン連動」を選択します。
- ③ 接点1の論理を選択し、「正」を選択します。(接点閉で正)
- ④ 接点2のモードを選択し、「(出)シーン連動」を選択します。
- ⑤ 接点2の論理を選択し、「正」を選択します。(接点閉で正)
- ⑥ 本器をコントローラに向けて**送信**ボタンを押します。
コントローラが「ピッピッ」と鳴り、接点の機能が設定されます。

(2) 組合せ設定の場合(組合せモード)

接点機能切替
▶ 接点組合せ ON
接点 出力 正
論理 正
イベント 接点1 接点2
通常 OFF OFF
シーン1 ON OFF
シーン2 OFF ON
シーン3 ON ON

- ① 接点組合せを選択し、「ON」を選択します。
- ② 接点を選択し、「出力」を選択します。
- ③ 論理を選択し、「正」を選択します。(接点閉で正)
- ④ 本器をコントローラに向けて**送信**ボタンを押します。
コントローラが「ピッ」と鳴り、接点の機能が設定されます。

42 消灯/点灯状態の接点出力

MS681/MS682/MS681S/MS682S/MS683S/MS684SA 応用

コントローラの調光信号出力による消灯/点灯状態を、接点1および接点2端子に無電圧信号で出力させることができます。接点1・2共に、消灯の時:閉、点灯の時:開です。(接点1は回路1、接点2は回路2に対応)

メニュー(コントローラ)	運用情報設定	接点機能切替
マニュアル操作 簡単設定 通常設定 シーン設定 日時設定 スケジュール設定 ▶ 運用情報設定 特殊操作 通信設定 ワイヤレス設定	1/5 感度設定モード 簡単 昼白色LED色温度 5000 K 2400 lm 電球色LED色温度 3000 K 1900lm ▶ 接点機能切替 単入 シーン 初期照度 1000 lx	▶ 接点組合せ OFF 接点1 モード(出) 点灯/消灯 論理 正 接点2 モード(入) シーン連動 論理 正

- ① **メニュー**ボタンを押し、メニュー(コントローラ)画面を表示させて、「運用情報設定」を選択し、**決定**ボタンを押します。
- ② 運用情報設定画面より「接点機能切替」を選択し、**決定**ボタンを押します。
以下に接点1を消灯/点灯連動に設定する手順を示します。
(a) 接点組合せを選択し、「OFF」を選択します。
(b) 接点1のモードを選択し、「(出)点灯/消灯」を選択します。
(c) 論理選択し、「正」を選択します。(接点閉で正)
(d) 本器をコントローラに向けて**送信**ボタンを押します。
コントローラが「ピッピッ」と鳴り、接点の機能が設定されます。

正論理	接点1	接点2	負論理	接点1	接点2
点灯	ON	ON	点灯	OFF	OFF
消灯	OFF	OFF	消灯	ON	ON

43 在/不在状態の接点出力

MS682/MS682S 応用

人感センサタイプコントローラの在/不在状態を、接点1および接点2端子に無電圧信号で出力させることができます。接点1・2共に、不在の時(人感センサが不在検知し保持時間経過後):開、在の時:閉です。

メニュー(コントローラ)	運用情報設定	接点機能切替
マニュアル操作 簡単設定 通常設定 シーン設定 日時設定 スケジュール設定 ▶ 運用情報設定 特殊操作 通信設定 ワイヤレス設定	1/5 感度設定モード 簡単 昼白色LED色温度 5000 K 2400 lm 電球色LED色温度 3000 K 1900lm ▶ 接点機能切替 単入 シーン 初期照度 1000 lx	▶ 接点組合せ OFF 接点1 モード(出) 人感センサ連動 論理 正 接点2 モード(入) シーン連動 論理 正

- ① **メニュー**ボタンを押し、メニュー(コントローラ)画面を表示させて、「運用情報設定」を選択し、**決定**ボタンを押します。
- ② 運用情報設定画面で「接点機能切替」を選択し、**決定**ボタンを押します。
以下に接点1を在/不在連動に設定する手順を示します。
(a) 接点組合せを選択し、「OFF」を選択します。
(b) 接点1のモードを選択し、「(出)人感センサ連動」を選択します。
(c) 論理選択し、「正」を選択します。(接点閉で正)
(d) 本器をコントローラに向けて**送信**ボタンを押します。
コントローラが「ピッピッ」と鳴り、接点の機能が設定されます。

(弱電信号出力なので換気扇等の電源を直接ON/OFFすることはできません。リレー等を使用ください。)

44 明/暗状態の接点出力

MS681/MS682/MS681S/MS682S

応用

照度センサが検知する明/暗状態を、接点1および接点2端子に無電圧信号で出力させることができます。



① **メニュー**ボタンを押し、メニュー(コントローラ)画面を表示させて、「運用情報設定」を選択し、**決定**ボタンを押します。

② 運用情報設定画面より「接点機能切替」を選択し、**決定**ボタンを押します。
以下に接点1を明/暗連動に設定する手順を示します。

- (a) 接点組合せを選択し、「OFF」を選択します。
- (b) 接点1のモードを選択し、「(出)照度センサ連動」を選択します。
- (c) 論理を選択し、「正」を選択します。(接点閉で正)
- (d) 本器をコントローラに向けて**送信**ボタンを押します。

コントローラが「ピッピッ」と鳴り、接点の機能が設定されます。

正論理	接点1	接点2	負論理	接点1	接点2
明	ON	ON	明	OFF	OFF
暗	OFF	OFF	暗	ON	ON

45 換気扇連動制御の接点出力

MS682/MS682S

応用

人感センサの不在検知により、換気扇を遅延制御することができます。



① **メニュー**ボタンを押し、メニュー(コントローラ)画面を表示させて、「運用情報設定」を選択し、**決定**ボタンを押します。

② 運用情報設定画面より「接点機能切替」を選択し、**決定**ボタンを押します。
以下に接点1を換気扇連動に設定する手順を示します。

- (a) 接点組合せを選択し、「OFF」を選択します。
- (b) 接点1のモードを選択し、「(出)換気扇連動」を選択します。
- (c) 論理を選択し、「正」を選択します。(接点閉で正)
- (d) 本器をコントローラに向けて**送信**ボタンを押します。

コントローラが「ピッピッ」と鳴り、接点の機能が設定されます。

46 コントローラの日時設定

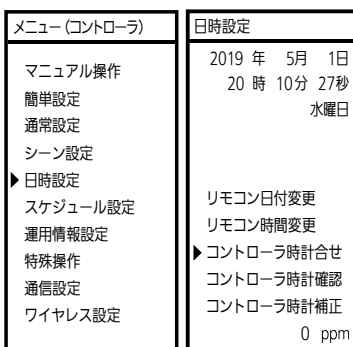
MS681S/MS682S/MS683S/MS684SA/MS691S/MS692S/MS692SA/MS711S/MS851

応用

時計内蔵のコントローラは、一定時間以上電源が供給されなかった場合、時計がリセットされます。

コントローラの日時設定時には時計を現在の日付、時間に合わせる操作を行ってください。

P13「18 リモコンの日付・曜日・時刻の設定」を予め実施してください。



① **メニュー**ボタンを押し、メニュー(コントローラ)画面を表示させて、「日時設定」を選択し、**決定**ボタンを押します。

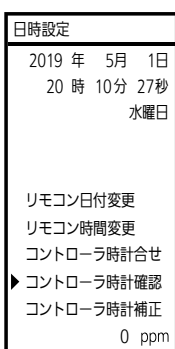
② 日時設定画面より「コントローラ時計合せ」を選択し、**決定**ボタンを押し、ポップアップ画面を開き、「はい」を選択し本器をコントローラに向け**決定**ボタンを押します。
コントローラが「ピッ」と鳴り、時計が設定されます。

③ 時計の微調整が必要な場合は、「コントローラ時計補正」を実施ください。
-63[ppm]~+63[ppm]の範囲で設定し、1[ppm]あたり約2.6[秒/月]の補正が可能です。
※ 予め補正值が設定されていることがあるため、**送信**ボタンで補正值を受信後、補正值を加減算して送信してください。

47 コントローラの日時モニタ

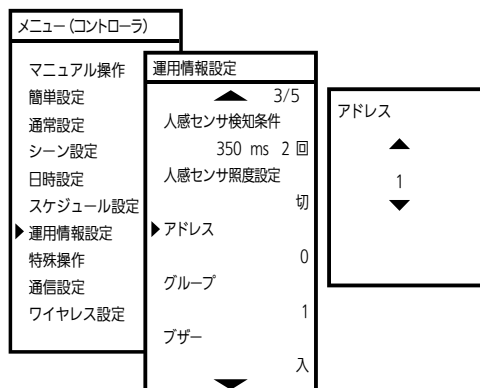
MS681S/MS682S/MS683S/MS684SA/MS691S/MS692S/MS692SA/MS711S/MS851

応用



- ① **メニュー**ボタンを押し、メニュー(コントローラ)画面を表示させて、「日時設定」を選択し、**決定**ボタンを押します。
- ② 日時設定画面より「コントローラ時計確認」を選択し、**決定**ボタンを押し、ポップアップ画面を開き、「はい」を選択し本器をコントローラに向け**決定**ボタンを押します。
コントローラの「日付、曜日、時間」がモニタされます。
- ③ 同時にリモコンの「日付、曜日、時間」が表示され、コントローラとリモコンの時計誤差が表示されます。
(リモコンとコントローラの年/月/日/曜日が一致しない場合、時計誤差は表示されません。)

(1) アドレスを設定・モニタする



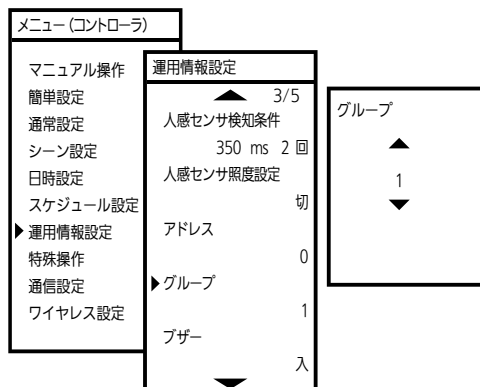
- ① ボタンを押し、メニュー (コントローラ) 画面を表示させて、「運用情報設定」を選択し、 ボタンを押します。
- ② 運用情報設定画面より「アドレス」を選択し、 ボタンを押してポップアップ画面を開き、 ボタンを操作しアドレスを選択し、 ボタンを押します。
- ③ コントローラに向けて ボタンを押します。
コントローラにアドレスが設定されます。
- ④ コントローラに向けて ボタンを押します。
コントローラのアドレスがモニタされます。

※ MS691Sのアドレスは無線アドレススイッチで設定します。

詳細はMS691Sの取扱説明書を参照してください。

※ MS409, MS409Aのアドレス設定は、P34「**57** 無線器具のアドレス・回路番号・中継機能の設定」を参照してください。

(2) グループを設定・モニタする

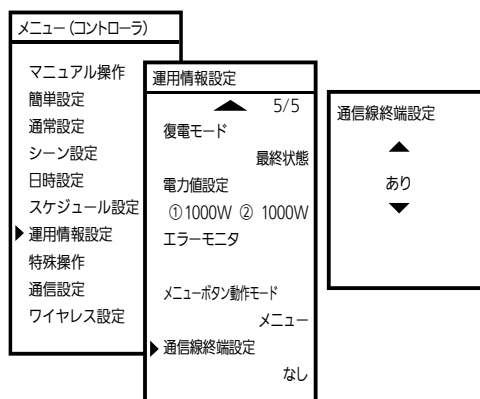


- ① ボタンを押し、メニュー (コントローラ) 画面を表示させて、「運用情報設定」を選択し、 ボタンを押します。
- ② 運用情報設定画面より「グループ」を選択し、 ボタンを押してポップアップ画面を開き、 ボタンを操作しグループを選択し、 ボタンを押します。
- ③ 本器をコントローラに向けて ボタンを押します。
コントローラにグループが設定されます。
- ④ 本器をコントローラに向けて ボタンを押します。
コントローラのグループがモニタされます。

49 通信線終端設定

本設定はコントローラが通信線の最末端であることを確認の上、実施してください。

通信線の終端を設定したり、コントローラの通信線終端状態をモニタできます。



- ① ボタンを押し、メニュー (コントローラ) 画面を表示させて、「運用情報設定」を選択し、 ボタンを押します。
- ② 運用情報設定画面より「通信線終端設定」を選択し、 ボタンを押してポップアップ画面を開き、 ボタンを操作し「あり」を選択し、 ボタンを押します。
- ③ 本器をコントローラに向けて ボタンを押します。
コントローラが「ピッ」と鳴り、設定が完了します。
- ④ 本器をコントローラに向けて ボタンを押します。
通信線終端状態がモニタされます。

※ アドレス0の場合、通信線終端設定を「あり」にできません。

設定しても、受信時は通信線終端設定「なし」になります。

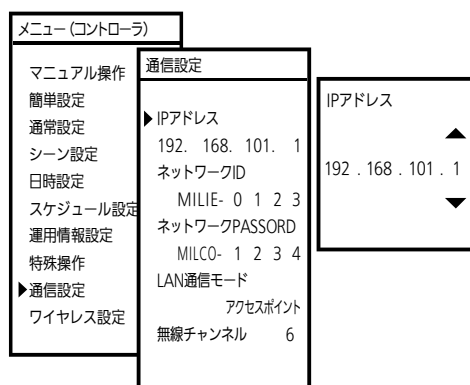
通信線終端設定を「あり」にしたい場合は、アドレスを1～10に設定してください。

※ 終端は、通信線端子台の「RS-485 (終端時短絡)」に終端線で短絡しますが、施工後に通信線終端設定が「なし」となっていることがモニタできた場合、通信線終端設定を「あり」に設定することでも終端可能です。

上記設定を行った状態で、更に通信線端子台の「RS-485 (終端時短絡)」に終端線で短絡しないでください。

二重終端となって通信エラーが発生し、設定・操作など運用ができなくなるおそれがあります。

設備インターフェース機器を使用する場合、IPアドレス、ネットワークID、ネットワークPASSWORDの設定を実施してください。ここではIPアドレスの設定およびモニタについて説明します。



① ボタンを押し、メニュー (コントローラ) 画面を表示させて、「通信設定」を選択し、 ボタンを押します。

② 通信設定画面より「IPアドレス」を選択し、 ボタンを押し、ポップアップ画面を開き、 ボタンを操作してIPアドレスを選択し ボタンを押します。

《ネットワーク情報》

(1) IPアドレス

設備インターフェース機器に設定可能なIPアドレスは、第1、第2オクテットが”192.168”であるクラスCのプライベートIPアドレスのみです。(サブネットマスクは、"255.255.255.0"の固定になります。)

(a) アクセスポイントモード

192.168.101.1に設定されているため、変更せずに使用できます。変更する場合には、第3オクテットを任意に設定し、第4オクテットを1に設定することを推奨します。第4オクテットに0または253～255を設定しないでください。

(b) インフラストラクチャモード (DHCP)

DHCP機能を用いて自動で設定されるため、リモコン操作により設定する必要はありません。

(c) インフラストラクチャモード (IP固定)

固定のIPアドレスを任意に設定します。第3オクテットは汎用無線LANルーターのIPアドレスと同じ値に設定し、第4オクテットは異なる値に設定してください。

(d) 有線LANモード (IP固定)

固定のIPアドレスを任意に設定します。第3オクテットは有線LAN接続先の機器のIPアドレスと同じ値に設定し、第4オクテットは異なる値に設定してください。

(2) ネットワークID (SSID)

初期値は「MILIE0123」になります。同一システム内で設備インターフェース機器を複数接続する場合、同一のIDとパスワードを設定してください。

操作者が移動しても、機器の設定を切替えることなく操作ができます。

また、異なるシステムの設備インターフェース機器には、それぞれ異なるIDを設定してください。

「MILIE」は固定文字で、英数字4桁を入力できます。(注: 英文字は大文字のみ)

(3) ネットワークPASSWORD

初期設定は「MILCO1234」になります。「MILCO」は固定文字で、英数字4桁を入力できます。

(注: 英文字は大文字のみ)

設備インターフェース機器を使用する場合、直接無線通信するアクセスポイントモードと市販の無線LANルータを介して通信するインフラストラクチャ(DHCP)/インフラストラクチャ(IP固定)モードと有線LAN接続で通信する有線LAN(IP固定)モードの4つの設定ができます。出荷時設定では、アクセスポイントモードになっています。

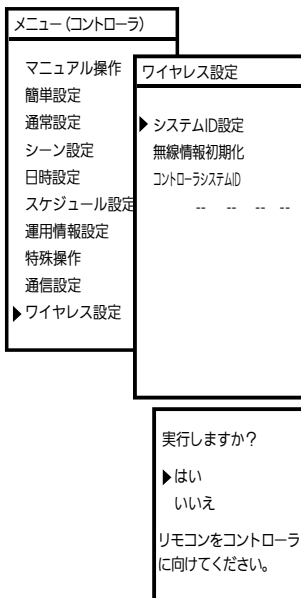


- ① **メニュー** ボタンを押し、メニュー(コントローラ)画面を表示させて、「通信設定」を選択し、**決定** ボタンを押します。
- ② 通信設定画面より「LAN通信モード」を選択し、**決定** を押し、ポップアップ画面を開きます。
+ **-** ボタンを操作して、アクセスポイント、インフラストラクチャ(DHCP)、インフラストラクチャ(IP固定)、有線LAN(IP固定)モードの4つから選択し、**決定** ボタンを押します。
- ③ 設備インターフェース機器に向けて**送信** ボタンを押します。
選択したLAN通信モードが設定されます。
※ インフラストラクチャ(DHCP)モードを選択した場合、設定したIPアドレスは無効になり、無線LANルータのDHCP機能でIPアドレスが設定されます。この場合、無線LANルータのDHCP機能は必ずONにしてください。
インフラストラクチャ(IP固定)モードと有線LAN(IP固定)モードを選択した場合は、IPアドレスは任意に設定できます。
- ④ 設備インターフェース機器に向けて**受信** ボタンを押します。
設備インターフェース機器のLAN通信モードがモニタされます。

52 システムIDの設定・モニタ

ワイヤレスタイプコントローラを使用する場合、システムIDの設定を実施してください。

ここではシステムIDの設定・モニタおよび初期化について説明します。



(1) システムID設定

- ① **メニュー** ボタンを押し、メニュー(コントローラ)画面を表示させて、「ワイヤレス設定」を選択し、**決定** ボタンを押します。
- ② ワイヤレス設定画面より「システムID設定」を選択し、**決定** ボタンを押し、ポップアップ画面を開き「はい」を選択し、本器をコントローラに向けて、**決定** ボタンを押します。
コントローラが「ピッ」と鳴り、システムIDが設定されます。

※ 中継でしか届かない機器を追加してシステムIDを設定する場合は、中継機器のシステムIDを初期化してから再設定してください。

(2) 無線情報初期化(システムID初期化)

- ① **メニュー** ボタンを押し、メニュー(コントローラ)画面を表示させて、「ワイヤレス設定」を選択し、**決定** ボタンを押します。
- ② ワイヤレス設定画面より「無線情報初期化」を選択し、**決定** ボタンを押し、ポップアップ画面を開き「はい」を選択し、本器をコントローラに向け**決定** ボタンを押します。
コントローラが「ピッ」と鳴り、システムIDが初期化されます。
※ MS692Sはアドレス・終端設定も初期化されます。

(3) システムIDモニタ

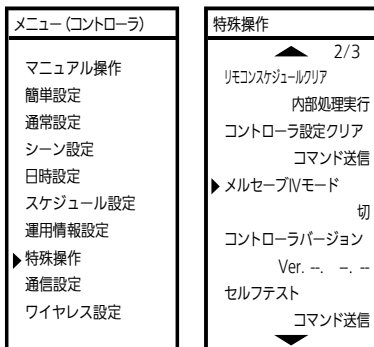
- ① **メニュー** ボタンを押し、メニュー(コントローラ)画面を表示させて、「ワイヤレス設定」を選択し、**決定** ボタンを押します。
- ② ワイヤレス設定画面より「コントローラシステムID」を選択し、**決定** ボタンを押し、ポップアップ画面を開き、「はい」を選択し、本器をコントローラに向けて**決定** ボタンを押します。
コントローラが「ピッ」と鳴り、システムIDがモニタされます。

53 メルセーブIVモードへの切替え

メルセーブIVコントローラ

本器を、メルセーブIVのリモコンとして使用する場合は、本モードを入にしてご使用ください。

(メルセーブIVコントローラ形名: MS631A, MS631SA, MS641A, MS641SA, MS651A, MS651SA)



① **☰**ボタンを押し、メニュー(コントローラ)画面を表示させて、「特殊操作」を選択し、**決定**ボタンを押します。

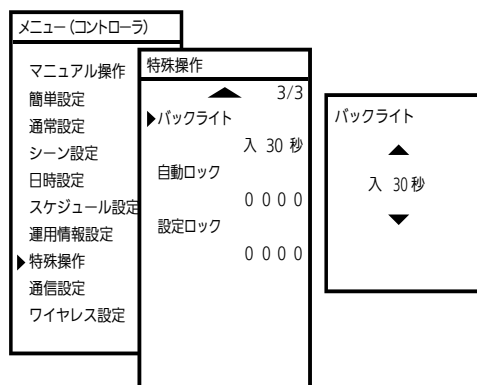
② 特殊操作画面より「メルセーブIVモード」を選択し、**決定**ボタンを押し、ポップアップ画面を開き、**+**/**▽**ボタンを操作し、「入」を選択し、**決定**ボタンを押します。
この操作によりメルセーブIVコントローラに対して、設定およびモニタが可能になります。

※ スケジュールパターンの設定は、1つのパターンに登録できるデータが最大で10個に制限されます。

54 バックライト点灯時間の切替え

リモコン機能

リモコンの電池寿命を延ばすため、バックライト点灯時間を調整できます。



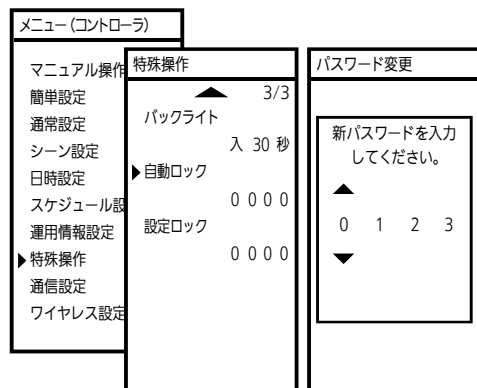
① **☰**ボタンを押し、メニュー(コントローラ)画面を表示させて、「特殊操作」を選択し、**決定**ボタンを押します。

② 特殊操作画面より「バックライト」を選択し、**決定**ボタンを押し、ポップアップ画面を開き、**+**/**▽**ボタンを操作し「切」「入10秒」「入20秒」「入30秒」「入60秒」のいずれかを選択し、**決定**ボタンを押します。
リモコンのバックライト点灯時間が設定されます。

55 操作・設定機能のロック

リモコン機能

リモコンの誤操作および誤設定を防止するよう、パスワード設定ができます。ここでは、自動ロックの設定について説明します。



① **☰**ボタンを押し、メニュー(コントローラ)画面を表示させて、「特殊操作」を選択し、**決定**ボタンを押します。

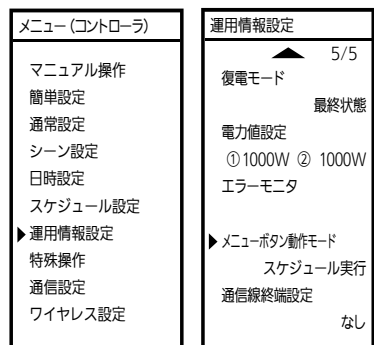
② 特殊操作画面より「自動ロック」を選択し、**決定**ボタンを押し、ポップアップ画面を開き、**+**/**▽**/**◀**/**▶**ボタンを操作して4桁の数字を選択し、**決定**ボタンを押します。
※「0000」はパスワードなしとなります。

※ リモコンのスリープ画面からボタン操作する際、パスワードの入力が必要となります。

56 メニューボタン動作モードの切替え

リモコン機能

スケジュール実行をメニューボタン1回押して実行できるように変更します。



① **☰**ボタンを押し、メニュー(コントローラ)画面を表示させて、「運用情報操作」を選択し、**決定**ボタンを押します。

② 運用情報設定画面より「メニューボタン動作モード」を選択し、**決定**ボタンを押し、ポップアップ画面を開き、**+**/**▽**ボタンを操作し、「スケジュール実行」を選択し、**決定**ボタンを押します。

メイン画面1または2を表示した状態で操作した場合のみ、下表の動作になります。

メニューボタン動作モード	1回押し(シングルクリック)	連続2回押し(ダブルクリック)
メニューモード	メニュー画面に切換え	スケジュール実行画面に切換え
スケジュール実行モード	スケジュール実行	メニュー画面に切換え

57 無線器具のアドレス・回路番号・中継機能の設定

SC0540B/SC0541B/MS409 必須

MS409A 応用

(1) アドレスの設定

メニュー (照明器具)	無線器具設定
▶ 無線器具設定 無線器具確認	▶ アドレス 0 回路番号 1 中継機能 OFF 設定初期化

アドレス
▲
0
▼

- ① **メニュー**ボタンを押し、メニュー(コントローラ)画面を表示させて、**切替**ボタンを押し、メニュー(照明器具)画面に切替えます。
- ② メニュー(照明器具)画面より「無線器具設定」を選択し、**決定**ボタンを押します。
- ③ 無線器具設定画面より「アドレス」を選択し、**決定**ボタンを押し、ポップアップ画面を開き、**+**/**▽**ボタンを操作して、アドレスを選択し、**決定**ボタンを押します。
- ④ 本器を無線器具に向けて**送信**ボタンを押します。
照明器具なら点滅1回、MS409,MS409Aなら「ピッ」と鳴り、アドレスが設定されます。

(2) 回路番号の設定

メニュー (照明器具)	無線器具設定
▶ 無線器具設定 無線器具確認	▶ アドレス 0 ▶ 回路番号 1 中継機能 OFF 設定初期化

回路番号
▲
1
▼

- ① **メニュー**ボタンを押し、メニュー(コントローラ)画面を表示させて、**切替**ボタンを押し、メニュー(照明器具)画面に切替えます。
- ② メニュー(照明器具)画面より「無線器具設定」を選択し、**決定**ボタンを押します。
- ③ 無線器具設定画面より「回路番号」を選択し、**決定**ボタンを押し、ポップアップ画面を開き、**+**/**▽**ボタンを操作して、回路番号を選択し、**決定**ボタンを押します。
- ④ 本器を無線器具に向けて**送信**ボタンを押します。
照明器具なら点滅1回、MS409,MS409Aなら「ピッ」と鳴り、回路番号が設定されます。

(3) 中継機能の設定

メニュー (照明器具)	無線器具設定
▶ 無線器具設定 無線器具確認	▶ アドレス 0 回路番号 1 ▶ 中継機能 OFF 設定初期化

中継機能
▲
OFF
▼
中継機能はシステムで2台までONできます。

- ① **メニュー**ボタンを押し、メニュー(コントローラ)画面を表示させて、**切替**ボタンを押し、メニュー(照明器具)画面に切替えます。
- ② メニュー(照明器具)画面より「無線器具設定」を選択し、**決定**ボタンを押します。
- ③ 無線器具設定画面より「中継機能」を選択し、**決定**ボタンを押し、ポップアップ画面を開き、**+**/**▽**ボタンを操作して、ONを選択し、**決定**ボタンを押します。
- ④ 本器を無線器具に向けて**送信**ボタンを押します。
照明器具なら点滅1回、MS409,MS409Aなら「ピッ」と鳴り、中継機能が設定されます。

※ 中継機能は同一システム内で2台まで設定できます。
同一システム内で3台以上中継機能を設定しないでください。

(4) 設定初期化

メニュー (照明器具)	無線器具設定
▶ 無線器具設定 無線器具確認	▶ アドレス 0 回路番号 1 中継機能 OFF ▶ 設定初期化

実行しますか?
▶ はい
いいえ
照明器具の設定を初期化します。

- ① **メニュー**ボタンを押し、メニュー(コントローラ)画面を表示させて、**切替**ボタンを押し、メニュー(照明器具)画面に切替えます。
- ② メニュー(照明器具)画面より「無線器具設定」を選択し、**決定**ボタンを押します。
- ③ 無線器具設定画面より「設定初期化」を選択し、**決定**ボタンを押し、ポップアップ画面を開き、「はい」を選択します。
- ④ 本器を無線器具に向けて**決定**ボタンを押します。
照明器具なら点滅1回、MS409,MS409Aなら「ピッ」と鳴り、設定が全て初期化されます。(工場出荷時の設定になります。)

(1) アドレスの確認

メニュー (照明器具)	無線器具確認
無線器具設定 ▶ 無線器具確認	アドレス確認 回路番号確認 中継機能確認 動作モード確認

決定ボタンでアドレスを確認します。
 ▲
 0
 ▼
 アドレス一致で2回点滅します。

- ① ボタンを押し、メニュー (コントローラ) 画面を表示させて、 ボタンを押し、メニュー (照明器具) 画面に切替えます。
- ② メニュー (照明器具) 画面より「無線器具確認」を選択し、 ボタンを押します。
- ③ 無線器具確認画面より「アドレス確認」を選択し、 ボタンを押し、ポップアップ画面を開き、 ボタンを操作して、アドレスを選択します。
- ④ 本器を無線器具に向けて ボタンを押します。
アドレスの状態によって下表のとおり照明器具が点滅します。

点滅1回	アドレス不一致
点滅2回	アドレス一致

(2) 回路番号の確認

メニュー (照明器具)	無線器具確認
無線器具設定 ▶ 無線器具確認	アドレス確認 ▶ 回路番号確認 中継機能確認 動作モード確認

実行しますか？
 ▶ はい
 いいえ
 点滅回数で設定を確認します。

- ① ボタンを押し、メニュー (コントローラ) 画面を表示させて、 ボタンを押し、メニュー (照明器具) 画面に切替えます。
- ② メニュー (照明器具) 画面より「無線器具確認」を選択し、 ボタンを押します。
- ③ 無線器具確認画面より「回路番号確認」を選択し、 ボタンを押し、ポップアップ画面を開き、「はい」を選択します。
- ④ 本器を無線器具に向けて ボタンを押します。
回路番号によって下表のとおり照明器具が点滅します。

点滅1回	回路1
点滅2回	回路2
点滅3回	回路3
点滅4回	回路4

(3) 中継機能の確認

メニュー (照明器具)	無線器具確認
無線器具設定 ▶ 無線器具確認	アドレス確認 回路番号確認 ▶ 中継機能確認 動作モード確認

実行しますか？
 ▶ はい
 いいえ
 点滅回数で設定を確認します。

- ① ボタンを押し、メニュー (コントローラ) 画面を表示させて、 ボタンを押し、メニュー (照明器具) 画面に切替えます。
- ② メニュー (照明器具) 画面より「無線器具確認」を選択し、 ボタンを押します。
- ③ 無線器具確認画面より「中継機能確認」を選択し、 ボタンを押し、ポップアップ画面を開き、「はい」を選択します。
- ④ 本器を無線器具に向けて ボタンを押します。
中継機能の状態によって下表のとおり照明器具が点滅します。

点滅1回	中継機能OFF
点滅2回	中継機能ON

(4) 動作モードの確認

メニュー (照明器具)	無線器具確認
無線器具設定 ▶ 無線器具確認	アドレス確認 回路番号確認 中継機能確認 ▶ 動作モード確認

実行しますか？
 ▶ はい
 いいえ
 点滅回数で設定を確認します。

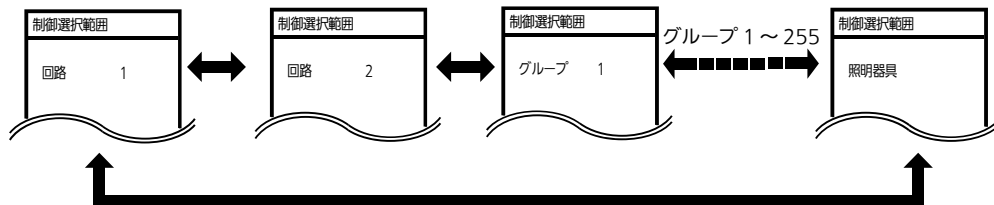
- ① ボタンを押し、メニュー (コントローラ) 画面を表示させて、 ボタンを押し、メニュー (照明器具) 画面に切替えます。
- ② メニュー (照明器具) 画面より「無線器具確認」を選択し、 ボタンを押します。
- ③ 無線器具確認画面より「動作モード確認」を選択し、 ボタンを押し、ポップアップ画面を開き、「はい」を選択します。
- ④ 本器を無線器具に向けて ボタンを押します。
動作モードによって下表のとおり照明器具が点滅します。

点滅1回	自動制御
点滅2回	マニュアル運転

通常 消灯中	制御選択範囲
2000 年 1月 1日 17 時 37分 ●	照明器具
シーン 1	
回路 1	
調光率	
-- %	

無線器具を操作することができます。

- ① メイン画面より、**切替** ボタンをダブルクリックし、制御選択範囲画面を開きます。
- ② **▽** ボタンを操作し、「照明器具」を選択し、**決定** ボタンを押し、照明器具操作画面を開きます。
△ ボタンで下記のように切替わります。(**▽** ボタンは逆方向)



照明器具操作画面では下記の操作ができます。

・点灯する

本器を無線器具に向けて **自動・点灯** ボタンを押します。

本操作で無線器具は自動制御となり、無線コントローラからの無線調光信号で制御されます。

・消灯する

本器を無線器具に向けて **消灯** ボタンを押します。

・調光操作する(明るさアップダウン)

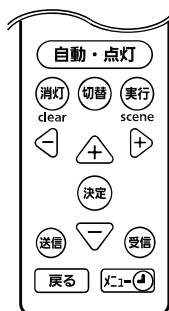
本器を無線器具に向けて **△** **▽** ボタン押します。

1回押すと調光率が1%ずつ変化します。

2秒以上押し続けると、調光率が5%ずつ変化します。

本操作で無線器具はマニュアル運転となり、コントローラからの無線調光信号では制御されず、リモコン操作で制御されます。

照明器具操作
2003 年 1月 3日 22 時 36分
照明器具
△ ▽ で 調光率操作が できます。



※ 照明器具操作画面では **△** **▽** の他、
自動・点灯 **消灯** ボタンも操作可能です。

照明器具操作画面からメイン画面に戻るには、照明器具操作画面で **切替** ボタンをダブルクリックし、**△** **▽** ボタンで照明器具以外を選択し、**決定** ボタンを押してください。

60 仕様

項目	内容
電源	単三アルカリ電池 2 本
時計精度	月差 ±30 秒
使用温度範囲	0 ～ 35℃
保存温度	0 ～ 60℃ (アルカリ電池は除く)
質量	0.21 kg (本体、電池含む)

61 保証とアフターサービス

<無償修理規定>

- 保証期間内に故障して、無償修理をご依頼の場合は、お買上げの販売店にご相談ください。
- 無償保証期間および範囲
 - 据付けた当日を含めた 1 年間としますが無償にて支給、修理するのは、故障した部品または当社が交換を認めたユニットに限ります。
ただし、3 項に記載する損傷や故障については、保証期間中であっても支給、修理は有償となります。
 - 本器事故に起因した営業保証等の 2 次保証はいたしません。
 - 無償保証期間経過後の修理につきましては、お買上げの販売店に相談してください。
 - 本器の補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後 6 年です。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
 - 修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買上げの販売店にご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には有償修理になります。
 - (a) 仕様範囲外で使用したことによる事故、損傷や故障の場合
 - (b) 改造した場合
 - (c) 操作方法が不備なことによる事故、損傷や故障の場合
 - (d) 火災、地震、風水害、落雷その他の天災地変、公害や異常電圧による事故、損傷や故障の場合
 - (e) その他、据付け、操作、調整、保守、取扱上常識となっている内容を逸脱した使用での事故、損傷や故障の場合は保証できません。
- 本製品は日本国内専用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.
- この保証内容は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがってこの保証内容によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

購入日

年 月 日

工事店名

電話 () —

FAX () —

販売店名

電話 () —

FAX () —

取扱い・修理のご相談は、まず
お買上げの販売店・施工者・設備業者へ

三菱電機株式会社
三菱電機照明株式会社
〒247-0056 神奈川県鎌倉市大船 2-14-40

お買上げの販売店等にご依頼できない場合は、ご相談窓口へお問い合わせください。

ご相談窓口 照明技術相談センター
フリーダイヤル
☎ 0120-348-027 (無料)
受付時間 9時～17時 (土・日・祝日は除く)
FAX (0467) 46-8861

明るさ変更マニュアル

本マニュアルは、双方向ワイヤレスリモコンMS213Aに同梱しています。

本紙は、照度センサ付きコントローラ（MS681、MS681S、MS682、MS682S、MS691S、MS692S、MS692SA）の明るさを変更する場合にご利用ください。

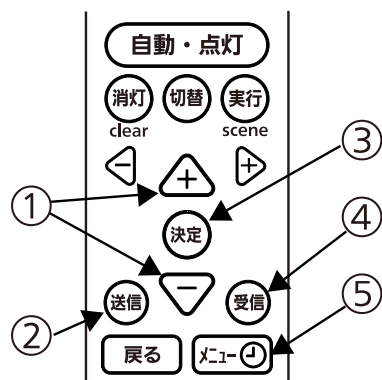
その他の応用設定を行う場合は、双方向ワイヤレスリモコンMS213Aの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

本マニュアルは、施工時に初期設定が完了していることを前提としています。

自動運転の明るさを変更したい場合

※自動運転＝通常設定に基づいた制御

自動運転時の明るさ（目標照度）を変更します。使用時に明るさが不足している場合や、過剰に明るい場合は、目標照度を変更してください。自動運転時の目標照度値は、下記操作手順(5)によって確認できます。



使用するボタン

- ① **+** **-** …… カーソルの上下移動や、数値を変更します。
- ② **送信** …… コントローラへデータを送信します。
- ③ **決定** …… メニュー項目や数値を決定します。
- ④ **受信** …… コントローラからデータを受信します。
- ⑤ **メニュー** …… メニュー画面に切り替えます。

《操作手順》

- (1) **メニュー** ボタンを押してメニュー画面を表示させてください。
- (2) **-** ボタンを1回押してカーソルを移動させ、「簡単設定」に合せてください。
- (3) **決定** ボタンを押して、簡単設定画面を表示させてください。
- (4) **-** を1回押してカーソルを移動させ、「目標照度」に合せてください。
- (5) リモコンを天井にあるコントローラに向け、**受信** ボタンを押してコントローラから目標照度を受信し、現在の設定値を確認してください。
(予めリモコン画面に目標照度が表示されていますが、前回使用した時のデータが残っている場合がありますので、本操作によって、必ずコントローラから最新状態をモニタしてください。)

注意

画面右上に**!**マークが表示された場合は、受信エラーです。コントローラの真下など、受信しやすい位置で、再度**受信**ボタンを押してください。

- (6) カーソルを目標照度に合せた状態で**決定**ボタンを押すと、右図のポップアップ画面が表示されます。**+** **-** ボタンを操作し、明るくしたい場合は目標照度を上げ、暗くしたい場合は目標照度を下げてください。

目標照度の変更が終わったら、再度**決定**ボタンを押してください。

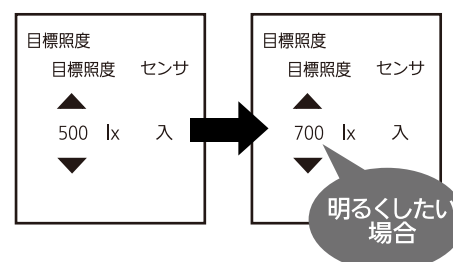
ポップアップ画面が閉じ、簡単設定画面に戻ります。

- (7) 簡単設定画面の目標照度が変更されていることを確認し、リモコンをコントローラに向けて**送信**ボタンを押してください。

画面右上に**Wi-Fi**マークが表示され、コントローラのブザーが「ピッ」と鳴り、設定が完了します。

- (8) 設定が完了すると、コントローラの運転状態LED（赤色）が10秒間点滅した後に点灯状態となり、設定した目標照度で自動運転を開始します

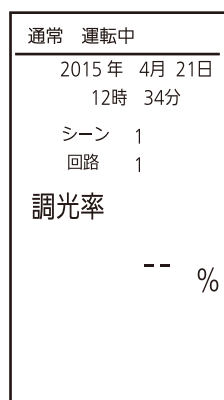
メニュー	簡単設定
マニュアル操作	調光出力モード
▶ 簡単設定	色温度制御
通常設定	▶ 目標照度 500 lx 入
シーン設定	調光率・色温度操作
日時設定	50% - K
スケジュール設定	感度設定実行
運用情報設定	照度モニタ 0 lx
特殊操作	センサ補正実行
通信設定	設定データ読み
	設定データ書き



簡単設定
調光出力モード
色温度制御
▶ 目標照度 700 lx 入
調光率・色温度操作
50% - K
感度設定実行
照度モニタ 0 lx
センサ補正実行
設定データ読み
設定データ書き

一時的に明るさを変えたい場合

メイン画面

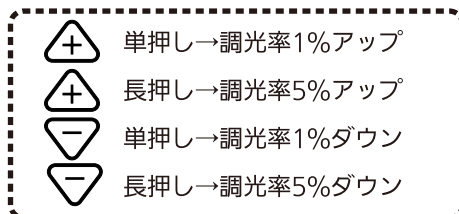


明るさ一定の自動運転ではなく、一時的に明るさを変えて制御します。

メニュー ボタンを押してメニュー画面を表示させた状態で、**戻る** ボタンを1回押して、左図のメイン画面を表示させてください。

《調光率アップ / ダウン操作》

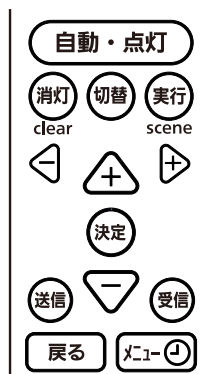
メイン画面にて **+** **-** ボタンを押すと調光率が一時的に変化します。



【工場出荷時】

通常(自動) : 目標照度500 lx
シーン1 : 目標照度750 lx
シーン2 ~ 6 : 目標照度100 lx

※シーン2 ~ 6は共通設定です。



《シーン操作》

- メイン画面にて **切替** ボタンを押し、画面上のシーン番号を切替えます。(押す毎に 1→2→3...6→1→2)
- 実行** ボタンを押すと、(1)で表示した番号のシーンが実行され、明るさが変化します。
シーン実行状態を確認するためには、メイン画面にて **受信** ボタン押し、画面上部の「通常 運転中」が、「シーン運転中」に変わったことを確認してください。
- シーンの設定値を変更する場合には、双方向ワイヤレスリモコン MS213A の取扱説明書「**28** シーンの設定」を参照してください。

※ 調光率アップ / ダウン操作後やシーン操作後、**自動・点灯** ボタンを押すことで、自動運転に戻ります。

照度計の実測値と目標照度を合せる場合

照度計の実測値と目標照度が著しく異なる場合には、センサ補正を実行してください。センサ補正は、現在の設置環境(反射率)に合わせて照度センサの基準値を補正します。

(双方向ワイヤレスリモコンMS213Aの取扱説明書「**20** センサ補正」を参照してください。)

- 簡単設定画面で、**-** ボタンを5回押してカーソルを「センサ補正実行」に合せます。
- リモコンをコントローラに向け **決定** ボタンを押してください。画面右上に、**Wi-Fi** マークが表示され、コントローラのブザーが「ピッ」と鳴り、センサ補正が完了します。

※ センサ補正を実行しても改善されない場合には、感度設定を実施してください。

(双方向ワイヤレスリモコンMS213Aの取扱説明書「**19** 照度センサの感度設定」を参照してください。)

応用設定を行う場合

人感センサ制御、スケジュール、通信機能等の応用設定を行う場合には、双方向ワイヤレスリモコンMS213Aの取扱説明書を参照し、各設定を実施してください。

困ったときは

MILCO.Sを使用する上で不明点等がありましたら、下記URLよりQ&A集をダウンロードし、該当する内容を確認してください。

https://www.mitsubishielectric.co.jp/ldg/ja/lighting/guide/support/download/detail_01.html